

年報

—平成19年度—

2008

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

大磯町郷土資料館の平成19年度年報を刊行いたします。

当館は、昭和63年10月に開館以来、『湘南の丘陵と海』のテーマを掲げさまざまな活動を行ってきました。平成19年度には開館19年目を数え、翌年に控える開館20年という大きな節目を意識しながら、引き続き効率的な施設の維持管理を目指しつつ、博物館施設としての機能や役割を十分認識した活動を進めました。

平成19年度の主な事業内容として、まず、松本順没後100周年記念事業があげられます。日本における近代西洋医学の基礎を築き、大磯海水浴場の開設に貢献した松本順を取り上げた特別展示のほか、関連事業として記念講演会やミュージアムトークを開催しました。なお、開催にあたっては、松本家ならびに同家ゆかりの方々の深いご理解とご協力をいただきことができました。ここにあらためて御礼申し上げます。この他にも企画展として自然系展示を2回、民俗系展示を1回開催したほか、エントランスホールや展示ホールでの小展示にも務めました。

ワークショップでは、「草と木の調査」「古文書裏打ちの会」を継続して開催しました。また、平成12年度から昨年度まで継続開催してきた「海の教室」については一時休止し、本年度は「照ヶ崎の生物観察会」を開催しながら、新たな試みに向けて準備を進めています。

その他、特筆すべき活動としては、資料館ホームページの充実、バイリンガル対応として館パンフレットやホームページの英語訳を作成するなど、より多くの方々の利用に対応できるように務めました。

今後とも、資料館活動について、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

【事業報告】

庶務 2

- ・組織および職員 2
- ・運営委員会 2
- ・予算 2
- ・維持管理 3
- ・入館者 3

学芸 4

- ・企画展 4
- ・学級/講座 9
- ・刊行物 11
- ・調査/研究/普及 12
- ・博物館実習 14
- ・博物館資料の収集と利用 ... 15

【研究報告】

入館者数の博物館業務評価指標としての有効性
(大磯町郷土資料館の実情から)

北水慶一 30

事業報告

庶務

■組織および職員

教育長	教育次長	郷土資料館	(郷土資料班)
福島睦恵	二椏木洋二	館長(兼務)福島伸芳	副主幹 鈴木 孝 副主幹/学芸員 佐川和裕 主任主事/学芸員 北水慶一 庁務作業員 野呂勝典
			臨時職員/学芸員 曾根田貴子 臨時職員/学芸員 山口由紀子 (以上8月～3月)
			臨時職員/学芸員 渡部周子 臨時職員/司書 伊與木美乃 (以上8月～1月)
			臨時職員/司書 近藤直子 (2月～3月)

■運営委員会

<委員の構成>

- ・委員 長/石田和夫 (有識者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委員/稲葉和也 (文化財専門委員)
近藤英夫 (町史編さん委員)
鈴木敬美 (学校長)

<委員会の開催>

- ・第1回/平成19年7月10日 平成18年度事業報告について、平成19年度事業計画および予算について、その他
- ・第2回/平成20年2月5日 平成19年度事業の進捗状況について、平成20年度事業計画についてその他

■予算

<当初予算の推移>

単位: 円

年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
金額	61,638,000	60,940,000	63,293,000	61,188,000	71,083,000	51,922,000

<平成19年度決算>

単位: 円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	松林閣後100周年
金額	52,000	2,805,733	11,054,011	872,528	548,002	528,135
事業	計					
金額	15,860,409					

□職員給与(4人分) 34,360,752 円 ■歳出合計 50,221,161 円

■維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株) 郵生
- ・空調設備給水設備保守委託／高砂熱学工業 (株) 横浜支店
- ・消防用設備保守委託／(株) 三栄防災
- ・昇降機保守委託／ダイコー (株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／(株) 神奈川ナブコ 厚木支店
- ・自家用電気工作物保守委託／浅葉電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業 (有)
- ・警備委託／(株) 全日警 横浜支社
- ・敷地管理委託／(財) 神奈川県公園協会
- ・木造神像保存処理委託／(有) 光園美術研究所
- ・ミンククジラ骨格クリーニング委託／(有) 尼ヶ崎科学標本社

■入館者

<入館者の推移>

単位：人、日

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	累計 (昭和63年～)
入館者数	28,497	28,250	26,421	28,966	31,697	646,302
1日平均/開館日数	100/285	97/291	89/296	99/291	107/296	116/5,558

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,357	2,810	1,755	1,750	1,922	1,740	3,545	4,769	2,051	1,618	3,398	3,982	31,697
1日平均	94	112	70	70	71	72	141	190	89	70	141	159	107

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	0	1	1	1	4	2	0	2	4	0	20

<学校利用>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	1						1						2
小学校							2					1	3
中学校													—
その他				1									1
合計	1	—	—	1	—	—	3	—	—	—	—	1	6

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	14	12	19	13	13	12	17	21	17	13	16	13	180

学 芸

■企画展

「磯・砂浜—身近な自然の営み—」

期 間 / 平成 19 年 4 月 29 日 (日) ~ 6 月 10 日 (日)

開場日数 / 35 日間

会 場 / 企画展示室

資料点数 / 約 200 点

料 金 / 無料

入場者数 / 3,774 人

(趣 旨) 大磯町は、南は相模湾に面し、古くから海とともに文化を育んできた。本町の地名「大磯」は、かつて、大磯地区 (昭和 29 年、大磯町・国府町合併以前の旧大磯町地区) に大きな磯 (岩礁の多い浜辺) があったことに由来するが、現在では大磯港西側の照ヶ崎とその他、一部分に残すのみとなっている。岩礁が連続する岩浜といわゆる砂浜とでは、景観が明らかに異なるが、それぞれの場所に生息する生物の種類もまた異なった状況が見られる。岩浜、砂浜という海岸地形の特徴を捉えつつ、生息する生物の種類や近年見られた事象などを紹介。海岸環境を見つめなおす機会とした。

(内 容) 展示は「磯の生き物」、「砂浜の生き物」、「海岸の漂着物」、「アカウミガメ産卵の記録<2004>」、「ウミガメのストランディング (漂着) の記録<2001-2005>」、「海岸で見られる化石」の 6 項目でまとめた。

i) 磯の生き物

照ヶ崎海岸で収集した貝類標本、岩礁で見られた生物 (ウミウシ、フジツボ、カニ、エビ等) の生態写真の他、昨年度、企画展「アオバトのふしぎ〜神奈川県天然記念物指定 10 周年記念〜」の開催に際し、巻島克之氏 (東京都在住) からご寄贈いただいたジャパンバードフェスティバル 2002「日本ワイルドライフアート作品展」山陸鳥類研究所所長賞受賞作品「大磯照ヶ崎海岸のアオバト」を展示した。

ii) 砂浜の生き物

砂浜でよく見られる貝殻やコウイカの甲、時期によっては見られる砂茶碗 (ツメタガイ等のタマガイ科貝類の卵囊) の実物標本の他、海浜植物の開花時の写真を展示した。

iii) 海岸の漂着物

展示室中央昇降台にコレクション BOX を模した大型の整理箱を作り、生活用品、貝殻、陶器片・磁器片、ガラス片等といったように系統立てて、資料を配置した。

iv) アカウミガメ産卵の記録<2004>

平成 16 (2004) 年 7 月に本町海岸でアカウミガメの産卵が確認された。海岸散策者から産卵の連絡をいただいた以降は、仔ガメが孵出するまで郷土資料館で状況を監視した。親ガメの産卵から仔ガメの孵化・孵出までの様子を写真で紹介した。

v) ウミガメのストランディング (漂着) の記録<2001-2005>

本町海岸では平成 13 (2001) 年から平成 17 (2005) 年の間に 26 個体のウミガメの漂着死体が確認されている。種類はアカウミガメ、アオウミガメの他、相模湾では記録の少ないタイマイ、オサガメも含まれている。全 26 個体の漂着場所、記録日、標準直甲長等を地図、表、写真で紹介した。

vi) 海岸で見られる化石

本町西小磯の海岸では中新世後期の地層 大磯層が見られる。その大磯層の露頭より貝化石やホオジロサメの歯を採取し、展示をした。

(担 当) 北水



松本順没後100周年記念展

「大磯の蘭齋 松本順と大磯海水浴場」

期 間/平成19年7月3日(火)～9月2日(日)

開場日数/54日間

会 場/企画展示室、廻廊、休憩室

資料点数/約200点

料 金/無料

入場者数/3,855人

(趣 旨) 大磯海水浴場を開設した松本順(貞順)は、日本における近代西洋医学の基礎を築いたことから、医学界はもとより日本の近代史上で欠くことのできない人物といえる。平成19年3月に松本順の没後100年を迎えたことから、記念展示として幕末から明治の激動期を駆け抜けた松本順の生涯と大磯とのかかわりについてとりあげる。

(内 容) 展示は①「蘭齋—松本順の足跡」②「松本順と大磯海水浴場」③「松本順にまつわる品々」の3つの大きなテーマで構成した。

①では、小項目として「江戸から長崎へ」「幕末から維新へ」「晩年の松本順」をたて、松本順の生涯を概観した。松本家はもちろん、実父の佐藤家からもご協力をいただきながら、松本順の全体像を描き出し、あわせて松本の生涯における大磯の位置づけを行なった。佐倉市、佐倉順天堂医院、長崎大学等の関係機関から資料を提供していただくことができた。なお、松本が長崎から江戸に戻る際に、ポンペから松本へオランダ人頭蓋骨が贈られたが、その精巧な複製品が残されており展示した。後に日本製鋳界の巨匠となる旭玉山による象牙製の髑髏で、根付ほどのたいへん小さな資料ではあるが、本展示の大きな目玉となった。欲を言えば、東京大学医学部に残されている頭蓋骨の実物標本の展示ができなかったことが残念である。また、公職を退いた後の晩年の松本は、海水浴や温泉の効用など衛生思想の普及に、相変わらず多忙な日々を送り続けており、その中で大磯海水浴場の位置づけを探った。

②では、「海水浴場の開設」「鉄道の開通と禰龍館」「海水浴場と別荘」「海水浴場のにぎわい」「松本順への謝恩と顕彰」の小項目のもと、松本の理論の実践の場として大磯に海水浴場が開かれた具体的な経緯に言及した。海水浴の解説に伴って創出された特徴ある文化が、その後の大磯における都市計画や経済に大きな影響を及ぼしたことを確認した。

③では、松本順の号である「蘭齋と染病」を小項目に掲げ、書画等に多彩な才能を有した松本順の作品群を集成し紹介した。激動の幕末から維新を生き抜き、一般的には豪放磊落なイメージとは全く印象を異にするような繊細でユーモアあふれる作品も少なくない。幅広い交友とともに気さくで真摯な人柄を彷彿とさせる逸話や、正直で一途である反面、金銭には無頓着であり厳しい生活を余儀なくされたという一面を感じさせる多くの品々を集成した。

また、企画展示室外でも展示を行なった。廻廊部分では、明治～大正にかけての大磯案内図やパンフレットから町内の旅館や商店の広告を抜粋するとともに、昭和40年代以降の海水浴(観光)ポスターを展示し、プロローグもしくはエピローグとしての役割を持たせた。さらに休憩室には、松本順とかわりのある場所や史蹟を地図上に写真とともにプロットし、町内の史跡めぐりの一助とした。

なお、本展示においては、松本家ゆかりの方々から深いご理解と多くのご協力をいただくことができた。あわせて刊行した図録では、松本家現当主である松本和彦氏の他、松本順研究の第一人者である酒井シヅ氏よりご寄稿をいただいた。

(担 当) 佐川



「町中の自然ウォッチング」

期 間／平成19年10月21日(日)～平成20年1月14日(月)

開場日数／66日間

会 場／企画展示室

出品点数／350点

料 金／無料

入場者数／9,011人

(趣 旨) 自然環境に恵まれた大磯町では植物の開花や紅葉、野鳥・昆虫の鳴き声などを通して四季の移り変わりを感じることができる。日頃の生活の中で何気なく目にした野鳥の営巣や昆虫の羽化などから、身近な場所と普段とは違う空間があることを実感することもある。視点を移せば至る所に我々、人間以外の生物が存在し、日々、そうした生物の生活が繰り返されている。人の生活圏における人と自然との関わりを再考する機会とすべく企画展を開催。身近な自然のつながりを生態写真、鳥類剥製、昆虫標本、押し葉標本で表現した。

(内 容) 本町の自然の豊かさを「王城山周辺の野鳥・昆虫」、「実体 生物図鑑」の二部構成でまとめた。第一部「王城山周辺の野鳥・昆虫」は、王城山近くにお住まいの木村純子氏から写真をご提供いただき、同地の野鳥・昆虫を紹介した。木村氏は平成13年頃からこれまで、ご自宅に飛来してくる野鳥や昆虫を撮影されてきた。移動性の高い生物の撮影は、一瞬のタイミングを捉えることが難しく、根気が必要であるが、これまでに100数種の生物の写真を撮影されてこられた。また、最近では、昆虫の産卵から羽化するまでの経過を記録されている。本コーナーでは、こうした観察の成果のうちの昆虫70種、野鳥15種の生態写真およびゴマダラチョウ、クロスジギンヤンマの産卵から羽化までの経過の写真を展示した。第二部「実体 生物図鑑」では、第一部の展示を補う形で、写真だけでは伝わりづらい野鳥、昆虫の大きさや細部の模様を観察していただくように当館所蔵の動物剥製、昆虫標本を展示した。また、昆虫の食樹という観点から、町中で普通に見られる樹木16種の樹皮、葉の特徴を紹介した。

(担 当) 北水



館蔵雛人形展「雛の競艶」

期 間／平成20年2月10日(日)～4月6日(日)

開場日数／47日間

会 場／企画展示室、迴廊、休憩室

出品点数／約1,000点

料 金／無料

入場者数／7,735人

(趣 旨) 年中行事を通して、地域の人々の暮らしぶりを探ることを目的とした展示で、観覧者の要望も多いため、恒例の展示として開催。平成6年(1994)から、1～3年間隔で開催しており、本展示は7回目の展示となる。

(内 容) 当館では江戸時代末期から昭和40年代まで、25組の雛人形を所蔵している。展示室の面積から限られた組数の展示となるが、それでも毎回15



～20組、細かな雑道具を含めると1,000点を優に越える資料数となる。本展示では20組を展示した。本展示では、昭和15年(1940)生まれの女性の初節供に購入された、東京日本橋十軒店で4代続いた人形の名店「永徳齋」の商標が記された雛人形を初公開した。永徳齋の人形は、気品の高い作風から皇族や華族など上流階級に愛されたといわれ、当館所蔵の人形は、年代から三代目もしくは四代目当主の山川永徳齋の作となる。

また、今回は来館者の方々にも「塗り絵」で展示に参加していただいた。当館のオリジナル絵柄を含めた9種類の塗り絵を用意し、来館者が自由に塗り、自由に展示パネルに貼っていただけるようにした。ささやかな参加型展示であるが、「塗り絵」は最終日までに341枚が展示された。塗り絵に触発された期間中のリピーターも多かったようであり、効果がみとめられた。なお、展示準備および片付けにおいては、資料整理ボランティアのご協力を賜わった。(担当)佐川



巡回展

「タイムカプセル2100年への旅」

期 間/平成20年1月10日(木)～3月30日(日)

開場日数/68日間

会 場/エントランスホール

出品点数/12点

料 金/無料

入場者数/8,627人

(趣 旨) 神奈川県博物館協会の創立45周年記念事業の一環で、東京新聞横浜・川崎支局との共催で実施。西暦2000年を記念して、同年1月18日に「タイムカプセル」が協会および事業関係者が見守る中、封印された。このタイムカプセルには、東京新聞の呼びかけに応募された115の個人・団体の手紙や写真のほか、ゴジラの人形や佐々木主浩投手(元シアトルマリナーズ)のサインボールなど20世紀を記念する品々、約430点が納められている。平成12(2000)年10月から西湘、湘南、県央、川崎、横浜、三浦の順で博物館の巡回展示が始まり、当館においても平成13(2001)年10月から平成14(2002)年1月にかけて第1期巡回展示を実施した。今回は第2期巡回展示となる。今後も県内の博物館を巡回し、2100年に開封する予定である。

(内 容) タイムカプセルはアクリル製の展示ケース内に入れた状態で、エントランスホールに展示した。背景には観覧者に収納物をイメージさせるように収納物の写真と収納物一覧パネルを参考資料として掲示した。

(担当)北水



展示ホール

「相模湾(大磯)のお魚」展

期 間/平成20年3月2日(日)～

開場日数/常設

会 場/展示ホール

(趣 旨) 相模湾は、岩礁、砂底、水深、海流などが、多彩で良好な環境を有している。大磯周辺海域の魚相はたいへん豊かであり、大磯は沿岸、沖合漁業の基地として古くから栄えてきた。本展示を通して、相模湾に生息する魚への興味を持たせ、あわせて理解を深めることを目的とした。子ども対象の常

設展示であり、同時にエントランスホールから常設展示室へのガイド的な機能をもたせる。
 (内容) 展示ホールのガラス2面を使い、相模湾の魚類の解説とともに、色とりどりの「ジェルジェム」を使った海の演出を行なった。また、遊びながら学んでもらうことを目的としたトコタルタ(魚の漢字合わせ)を作成して展示台上に設置した。

なお、解説を補う情報資料として『大磯のお魚ハンドブック』と題したリーフレットを刊行し設置している。

(担当) 曾根田、山口



エントランスホール ブルーギルの飼育展示

期 間/平成15年10月21日(火)より開始

開場日数/常設

会 場/エントランスホール

当初受入個体数 2,475匹

(経緯) 平成15年10月17日から19日にかけて、大磯運動公園(大磯町国府本郷所在)の仮設防災調整池(2450㎡)の水抜きを行なった。1日ほど水が抜かれた状態になった後、目視で確認できる生物を可能な限り回収した。回収した生物はコイ、ブルーギル、ギンヤンマのヤゴ、オタマジャクシであり、このうちのブルーギル2,475匹、ギンヤンマのヤゴ6匹、オタマジャクシ1匹を当館に持ち帰った。ブルーギルで最も大きな個体は体長19~20cm、個体数は4cm未満のものが最も多かった。回収したブルーギルの体長別の個体数の内訳は以下のとおりである。水槽はエントランスホールに置き、展示をしながら飼育を始めた。展示開始の数日間で体長4cm未満のものも多くが死んでしまい、1ヶ月間で個体数は10分の1以下まで減少した。その後も病気等の影響で個体数が減少したが、20数個体になった時点からしばらく個体数は安定した。

特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律の制定により平成17年6月1日から特定外来生物の飼育・販売等の規制が始まった。ブルーギルは特定外来生物のリストに入っており、飼育を続けるためには、農林水産省、環境省の許可が必要となった。所定の手続きを行ない、平成22年1月16日まで飼育を許可された。



ブルーギル 体長別個体数の内訳

体 長	個体数(匹)
19cm以上 20cm未満	3
11cm以上 12cm未満	3
10cm以上 11cm未満	3
9cm以上 10cm未満	14
8cm以上 9cm未満	17
7cm以上 8cm未満	27
6cm以上 7cm未満	55
5cm以上 6cm未満	84
4cm以上 5cm未満	91
4cm未満	2,178
合 計	2,475

許可の概要

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の飼育許可概要

○申請年月日 平成17年11月18日

○許可番号 06001938

○特定外来生物の種類 ブルーギル

(学名: *Lepomis macrochirus*)

○飼育等をする数量 13匹

○許可の有効期間 平成22年1月16日まで

(趣旨) 仮設防災調整池は平成11年2月につくられた人工池である。雨水や湧き水を溜める池で当初、生物は全く存在しなかった。池を造成してから4年8ヶ月後の平成15年10月に水抜きを行い、その時点で始めてブルーギルが生息していることが分かった。当館に持ち帰ったものは2,475匹だが、3~4cm程度のもが調整池内に多く残り、全体の個体数としては1万匹ぐらいだと推測される。5年弱というわずかな期間にこれほどの数に増えたのは驚きである。昨今、全国各地で外来種が在来種の存続を脅かすということがよく聞かれることだが、まさに調整池で見られたブルーギルの繁殖力の強さは拡大する外来種の勢いを物語るものであり、外来生物や飼育できなくなった生物を自然に放すことの危険性について考える機会としては時宜を得た企画と思われ、展示を行なった。

(内容) エントランスホールに水槽(W900mm×D450mm×H600mm)を置き、飼育展示を行なった。個体数が多く、すべての個体が展示用水槽に入れることのできない時期は、屋外の水場に仮設水槽を置き、予備的にブルーギルを飼育した。

(担当) 北水

■学級・講座

松本順没後100周年記念展示関連事業

<記念講演会「松本順(良順)の生涯」>

期 日/平成19年7月22日(日) 午後2時~3時30分

会 場/研修室

講 師/酒井シヅ氏(順天堂大学客員教授)

参加者/95人

(内容) 松本順没後100周年記念展の関連事業として、日本の医史学ならびに松本順研究の第一人者であり、『松本順自伝』の校注者である酒井シヅ氏を招き、「松本順(良順)の生涯」というテーマで講演をしていただいた。講演には、松本家ゆかりの方々はもちろん、医学関係者も多数参加された。

(担当) 佐川



松本順没後100周年記念展示関連事業

<ミュージアムトーク/担当学芸員による展示解説>

期 日/平成19年7月8日(日)・29日(日)、8月5日(日)・26日(日)、9月2日(日)
いずれも午後2時~4時

会 場/企画展示室

回 数/時間内に随時解説

(内容) 松本順没後100周年記念展の関連事業として開催した。観覧者の方々に、展示をより深く理解していただくために、展示担当者が展示物について解説した。なお、時間内において、企画展示室内の観覧者を対象に随時実施した。

(担当) 佐川

<草と木の調査>

日 時/平成19年4月14日(土)、5月26日(土)、6月9日(土)・23日(土)8月11日(土)、
9月8日(土)、10月13日(土)

平成20年1月26日(土)、2月9日(土)・23日(土)、3月8日(土)・22日(土)

場 所/万台こゆるぎの森

参加者/延119人

(内容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査[平成11年度・12年度]、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査[平成13年度~17年度]を実施し、平成

18年度からは第3次調査として、万台こゆるぎの森の植物調査を行なっている。第3次調査は4年計画で平成21年度までの実施を予定している。第3次調査初年度であった平成18年度は万台こゆるぎの森の立地を把握するため、予行的に花暦調査・樹木調査を行なった。2年目の平成19年度は、本調査に移行し、年間の開花状況のデータ収集のほか、特徴的な樹木の胸高直径、樹高の計測を行なった。



(活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4月14日	万台こゆるぎの森の花暦調査	10月13日	万台こゆるぎの森の花暦調査
5月26日	ガイダンス、 県立大蔵城山公園の花暦調査	1月26日	万台こゆるぎの森の樹木調査
6月9日	万台こゆるぎの森の花暦調査	2月9日	万台こゆるぎの森の花暦調査
6月23日	押し葉標本の作製	2月23日	万台こゆるぎの森の樹木調査
8月11日	万台こゆるぎの森の花暦調査	3月8日	万台こゆるぎの森の周辺散策
9月8日	万台こゆるぎの森の花暦調査	3月22日	万台こゆるぎの森の花暦調査

(担当) 北水

＜古文書裏打ちの会＞

日 時/平成19年5月19日(土)、6月16日(土)、7月21日(土)、8月18日(土)、9月15日(土)、10月20日(土)、11月17日(土)、12月15日(土)、平成20年1月19日(土)、2月16日(土)、3月15日(土)

場 所/当館研修室

講 師/鶴飼レイ子氏、中村ふち氏、吉原悦子氏

参加者/延131人

(内容) 裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵する古文書の裏打ちを行なうワークショップ。本講座は、平成11年度から16年度まで活動を継続してきた「民俗に親しむ会」の参加者の発案によって進められたものであり、博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置付けている。本講座は単年度の活動ではなく、継続的な参加を条件とした。技術指導は、平塚市博物館の「裏打ちの会」で長く活動されてきた3名の方にボランティア講師を依頼している。なお、本年度後半は、過去に不要物として収集しておいた古家の屏風や襖の裏張りをはがして裏打ちし、資料化を進めた。

(担当) 佐川、曾根田



＜照ヶ崎の生物観察会＞

日 時/平成19年6月2日(土)、11月11日(土)

場 所/照ヶ崎海岸

参加人数/35人

講 師/福田良昭氏(相模貝類研究談話会会長)

(内容) 平成19年度は、平成12年度から継続してきた「海の教室」を一時休止し、照ヶ崎の生き物

観察会を2回実施した。照ヶ崎海岸はゴールデンウィークから夏休み期間にかけては、磯遊び、バーベキュー、野鳥観察といろいろな目的で人が集う場所である。岩礁にはカニ、エビなどの節足動物やアメフラシ、マキガイなどの軟体動物、タイドプールには稚魚など潮間帯に生息する生物を目にすることができる。磯の生物の観察に適し、またアオバトの海水吸飲集団飛来地として県の天然記念物にも指定されている。平成19年度に実施した2回の観察会では、特に軟体動物を中心に貝類の専門家から名前の由来や生態的特徴の話をうかがいながら、磯の生物の観察を行なった。



6月の観察会は30人と多くの方にご参加いただいた。数多くの種類が確認でき、中でも脱皮最中のショウジンガニや、フグの仲間のキタマクラ、ウミウシの仲間で照ヶ崎では非常に珍しいアカエラミノウミウシは参加者の目をひいた。11月の観察会では、9月に通過した台風9号の影響で、岩礁には浸れず、手前の砂浜でビーチコーミングを行なった。主に貝殻を収集し、30種程度確認できた。

(担当) 北水

<資料館ホームページの充実>

(内容) 資料館ホームページに「大磯町郷土資料館ノート」のリンクを貼り、館活動や大磯城山公園の歳時記などの情報を随時更新して発信した。

<アクセス件数>

(件)

月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	681	1,161	479	273	205	999	2,512	6,310

(担当) 山口、曾根田

<バイリンガル対応>

バイリンガル対応として、ホームページの英語訳を作成し、日本語ホームページにリンクを貼った。また、館案内用のパンフレットの英語訳を作成して利用に供した。

(担当) 山口

■ 刊行物

<図録、冊子>

- ・『大磯の蘭圃 松本順と大磯海水浴場』松本順没後100周年記念展図録
 - A4版 20頁 800部 (平成19年 7月刊)
- ・『Report-大磯町郷土資料館だより』28
 - A4版 8頁 800部 (平成19年11月刊)
- ・『年報-平成18年度-』
 - A4版 38頁 500部 (平成19年12月刊)
- ・資料館資料12『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料-自然物採集・稲作・畑作・山樵・製塩・養蚕・畜産-』
 - A4版 32頁 500部 (平成20年 3月刊)
- <チラシ、パンフレット>
 - ・企画展チラシ『磯・砂浜-身近な自然の営み-』
 - A4版 2頁 3,000部 (平成19年 4月刊)
 - ・企画展チラシ『大磯の蘭圃 松本順と大磯海水浴場』
 - A4版 2頁 4,000部 (平成19年 7月刊)
 - ・常設展リーフレット『大磯の登り窯 城山窯』
 - B5版 4頁 1,000部 (平成19年10月刊)
 - ・企画展チラシ『町中の自然ウォッチング』
 - A4版 2頁 3,000部 (平成19年10月刊)
 - ・『進め! 大磯探検隊~城山公園の自然を楽しもう!』第1号
 - B3版 8ツ折 800部 (平成19年10月刊)
 - ・企画展パンフレット『誰の競艶』
 - A4版 4頁 4,000部 (平成20年 2月刊)
 - ・利用案内パンフレット
 - A4版 3ツ折 2,000部 (平成20年 2月刊)
 - ・『大磯のお魚ハンドブック』
 - A3版 8ツ折 800部 (平成20年 3月刊)

<その他>

- ・講座通信『草と木の調査』 A4版 4～8頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・企画展『誰の競艶』展示参加用めり絵 A4版 1頁9種 コピー対応 (会期中随時)

■調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外 (佐川、北水、曾根田、山口)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館 (福島)
- ・大磯町ガイドボランティア協会総会講演/4月4日/当館 (佐川)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席/4月24日、5月15日、6月8日、7月5日、10月11日、11月5日、1月11日、3月3日/教育研究所ほか (北水)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導/5月4日、6月16日、7月30日、12月25日、2月24日/大磯町内 (北水)
- ・大磯町新採用職員研修会講義/5月15日/大磯町役場 (佐川)
- ・厚木市郷土資料館「くらしの文化財探索会」講義/5月26日/厚木市郷土資料館 (佐川)
- ・大磯町子育て介護課「高齢者ちいきの集い」研修会 (回想法) 指導/5月31日/福祉センターさざれ石 (佐川)
- ・相模民俗学会出席/5月20日、3月16日/神奈川県立歴史博物館ほか (佐川)
- ・大磯町立大磯幼稚園「照ヶ崎海岸磯遊び」指導/6月28日/照ヶ崎海岸 (北水)
- ・海老名市立大谷中学校2年生校外活動指導/6月5日/西小磯海岸 (佐川)
- ・大東文化大学オープンカレッジ講義/7月4日/当館ほか (佐川)
- ・「いそっこ海の教室2007」講義/7月28日/大磯港 (北水)
- ・大磯町中津川市交流事業「磯の生物学習・磯あそび」指導/8月1日/照ヶ崎海岸 (北水)
- ・神奈川県伝統文化総合支援研究小委員会議出席/8月6日/当館 (佐川)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導/8月17日/高麗山 (北水)
- ・二宮町立二宮中学校初任者研修 (社会体験) 指導/8月26日・29日/当館ほか (佐川、北水)
- ・大磯町立大磯小学校2年生生活科指導/10月18日/当館 (佐川)
- ・馬場地区「ふれあい教室 (回想法)」指導/10月19日/馬場老人憩いの家 (佐川)
- ・神奈川県教育研究所連盟第54回教育研究発表大会出席/10月22日/厚木市立厚木中学校 (北水)
- ・土曜古文書会「松本順の書簡を読む」講義/10月27日/当館 (佐川)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習指導/10月30日/当館 (佐川、北水)
- ・大磯町立大磯中学校1年生総合学習指導/1月9日/大磯中学校 (佐川)
- ・相模民俗学会研究発表/1月20日/神奈川県立歴史博物館 (佐川)
- ・伊勢原市教育委員会歴史解説アドバイザー養成講座講義/1月23日/伊勢原市立中央公民館 (佐川)
- ・東海大学博物館実習I講義/2月13日/東海大学 (佐川)
- ・相模高アカデミー講演会講演/2月17日/大磯町立図書館 (佐川)
- ・神奈川県博物館協会研修会出席/2月20日/神奈川県立歴史博物館 (北水)
- ・神奈川県町村会自治研究会講義/3月24日/当館 (佐川)

<施設・展示解説>

- ・東海大学医学部附属大磯病院新入職員研修会/4月6日/70人 (佐川、北水)
- ・まきはば幼稚園/4月27日/25人 (佐川)
- ・茅ヶ崎市文化資料館/5月8日/10人 (北水)
- ・大磯町新採用学校職員研修会/6人 (北水)
- ・石神台西山氏/7月11日/8人 (佐川)
- ・大磯町中津川市児童交流会/8月2日/50人 (佐川)
- ・大磯町会議室/9月2日/5人 (佐川)
- ・まきはば幼稚園/10月4日/30人 (佐川)

- ・日高市文化財保護審議委員会/10月11日/6人(佐川)
- ・神奈川県町議会議長会/10月24日/15人(北水)
- ・土曜古文書会/10月27日/70人(佐川)
- ・大磯町適心指導教室「つばさ」/11月7日/10人(北水)
- ・J A湘南女性部/11月28日/20人(伊與木)
- ・神奈川県町議会議長会なぎさブロック会議/1月18日/15人(佐川)
- ・(財)古都保存財団/1月19日/20人(佐川)
- ・NHK文化センター町田教室/2月8日/20人(曾根田)
- ・聖ステパノ学園小学校3年生/2月14日/10人(北水)
- ・神奈川県教育研究所連盟研究協議会/2月22日/40人(北水)
- ・NHK文化センター町田教室/2月22日/20人(曾根田)

<執筆>

佐川和裕

2007. 5. 「小田原市前川のセートバライ」『民俗』第199・200号 相模民俗学会
7. 『大磯の蘭囃—松本順と大磯海水浴場』松本順没後100周年記念展図録 大磯町郷土資料館
8. 「大磯の七夕行事」『文化庁月報』No.467 文化庁
8. 「衣と機織り」『民具研究』日本民具学会30周年記念特別号 日本民具学会
11. 『大磯の蘭囃—松本順と大磯海水浴場』展をふりかえって『Report—大磯町郷土資料館だより』28 大磯町郷土資料館
2008. 3. 「松本順と大磯海水浴場」『湘南発祥のまち ぶらり大磯』第2号 (社)大磯町観光協会
3. 「大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料—自然物採集・稲作・畑作・山樵・製塩・養蚕・畜産—」資料館12 大磯町郷土資料館
3. 「新聞記事にみる大磯町内の民俗行事(二)」(共著)『大磯町史研究』第15号 大磯町

北水慶一

2007. 11. 「企画展「町中の自然ウォッチング」の展示概要」『Report—大磯町郷土資料館だより』28 大磯町郷土資料館

伊與木美乃

2007. 11. 「ついに、アライグマが大磯町にも現れた!!?～アライグマの足跡発見～」『Report—大磯町郷土資料館だより』28 大磯町郷土資料館
12. 『進め! 大磯探検隊』第①号(共著) 大磯町郷土資料館

曾根田貴子

2007. 11. 「昆虫発見!!「カマキリの巻」」『Report—大磯町郷土資料館だより』28 大磯町郷土資料館
12. 『進め! 大磯探検隊』第①号(共著) 大磯町郷土資料館
2008. 3. 『大磯のお魚ハンドブック』(共著) 大磯町郷土資料館

山口由紀子

2007. 11. 「ブログ形式の日々更新ウェブサイト「大磯町郷土資料館ノート」開設!」『Report—大磯町郷土資料館だより』28 大磯町郷土資料館
12. 『進め! 大磯探検隊』第①号(共著) 大磯町郷土資料館
2008. 3. 『大磯のお魚ハンドブック』(共著) 大磯町郷土資料館

■博物館実習

平成19年度は、4大学より5名の実習生を受け入れた。実習期間は9月26日から10月6日の間(9月30日・10月1日を除く)及び9月7日(事前ガイダンス)、10月12日(課題等提出)の計11日間とした。実習は例年、1週目と2週目とでは内容を大きく変えている。1週目は民俗、自然各分野の資料整理作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2週目は常設展示室の1ブロックを利用して展示替実習を行なった。展示替実習は、実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまで作業を進めるもので、本年度は「大磯の登り窯 城山荘」のタイトルで進めた。当館が位置する県立大磯城山公園は、かつて三井財閥総本家の別荘地であり、当時、敷地には城山窯と呼ばれる窯場があった。城山窯の築造から移築にいたるまでの経緯や、城山窯から生まれた作品などを紹介した。展示資料の中でも、特に実習生の作製した「登り窯基本構造模型」は、細部にわたって凝ったつくりになっており、来館者の目をひいている。

<実習生>

内田 恵(鶴見大学)、堀内美紀(東海大学)、間宮奈穂(関東学院大学)、山下恵子(関東学院大学)、二見公仁男(国士館大学)

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
9月 7日	金	ガイダンス	館内見学/町内施設・史蹟見学
9月26日	水	講義(資料館の活動概要)	澤田美喜記念館の見学
9月27日	木	自然資料整理(植物標本の作製)	自然分野実地調査 /展示替実習(展示構想)
9月28日	金	民俗資料の受入れ	美術資料(仏像)の移動
9月29日	土	資料梱包	資料梱包/軸物の取り扱い /展示替実習(展示構想)
9月30日	日		休 講
10月1日	月		休 講
10月2日	火	展示替実習(展示構想・資料調査・資料選択)	
10月3日	水	展示替実習(旧展示片付け・資料調査・原稿作成・写真撮影・展示物作成)	
10月4日	木	展示替実習(原稿作成・展示物作成)	
10月5日	金	展示替実習(原稿作成・展示物作成・キャプション作製・列品)	
10月6日	土	展示替実習(原稿作成・キャプション作製・パネル作製・リーフレット編集・列品・照明調整・片付け・記録・総括)	
10月12日	金	展示替実習(展示点検・課題提出・総括)	



(担当) 北水、佐川、曾根田、山口



■博物館資料の収集と利用

〈寄贈資料〉

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2007-0401	H19. 4. 10	絵はがき 他	17	安部川征彦 大磯町大磯	1002	H19. 10. 11	扁額	1	河原良三 大磯町大磯
0402	H19. 4. 12	地神講の道具	一括	地神講中 大磯町西小磯	1003	H19. 10. 18	写真	9	木村純子 大磯町大磯
0501	H19. 5. 5	麦蒔き機 他	4	吉川錦利 大磯町国府本部	1004	H19. 10. 18	刀剣	4	小島育男 大磯町国府本部
0502	H19. 5. 10	ヒゲクジラのヒゲ	1	鈴木孝明 大磯町西小磯	1005	H19. 10. 30	ツルベ井戸の滑車	1	竹内治雄 大磯町生沢
0503	H19. 5. 22	神棚	1	二挺木 恵 伊勢原市上粕屋	1101	H19. 11. 1	ビデオカメラ	一式	大磯町観光協会
0504	H19. 5. 29	タライ	1	鈴木孝明 大磯町西小磯	1102	H19. 11. 6	オケ・ヒシヤク他 (相撲興行時使用)	8	二挺木 恵 伊勢原市上粕屋
0601	H19. 6. 5	稲荷講の太鼓 他	一括	高橋虎吉・ナフ 大磯町大磯	1103	H19. 11. 6	布 他	1	木村純子 大磯町大磯
0602	H19. 6. 23	婚礼用具	1組	安部川征彦 大磯町大磯	1104	H19. 11. 14	大磯新昇丸模型 他	2	安部川征彦 大磯町大磯
0603	H19. 6. 30	古写真	3	加藤廣美 大磯町国府本部	1106	H19. 11. 18	果箱	1	小泉信次 大磯町西小磯
0801	H19. 8. 19	ボウシュウボラ	1	麻生フミ江 大磯町大磯	1107	H19. 11. 22	オヒツ(デーケー) 他	8	波多野正之 大磯町西小磯
0802	H19. 8. 2	毛布(軍隊使用)	2	加藤廣美 大磯町国府本部	1201	H19. 12. 5	アシナガバチの巣	1	佐久間正子 大磯町東小磯
0803	H19. 8. 18	パゴ(ソイパシコ) 他	2	竹内治雄 大磯町生沢	1202	H19. 12. 7	ハリイタ 他	4	小島祐子 大磯町国府新宿
0804	H19. 8. 23	アレス/アガへの脱殻 他	21	木村純子 大磯町大磯	1203	H19. 12. 8	鬼瓦	3	古部田鶴子 大磯町大磯
0805	H19. 8. 24	石包丁	1	矢野慎一 藤沢市鵜沼藤谷	1204	H19. 12. 12	昆虫標本 他	35	木村純子 大磯町大磯
0806	H19. 8. 31	雛人形	一式	寺本和代 大磯町大磯	1205	H19. 12. 21	鉄道のレール	2	東日本旅客鉄道 株式会社
0902	H19. 9. 16	漂着物(ウキ)	1	福田良昭 大磯町大磯	1206	H19. 12. 28	神酒徳利 他	一括	鈴木 昇 大磯町西小磯
0903	H19. 9. 26	タオル	2	加藤廣美 大磯町国府本部	2008-0101	H20. 1. 11	御簾(雛人形用)	1	寺本和代 大磯町大磯
0904	H19. 9. 27	写真	33	木村純子 大磯町大磯	0102	H20. 1. 18	昆虫標本 他	6	木村純子 大磯町大磯
0905	H19. 9. 29	書籍 他	7	安部川征彦 大磯町大磯	0201	H20. 2. 8	絵はがき	一括	木村純子 大磯町大磯
0906	H19. 9. 28	蓄音機 他	一括	近藤敬一郎 東京都新宿区	0301	H20. 3. 7	ミソサザイ(へい死体)	1	中山和也 大磯町西小磯
1001	H19. 10. 10	クルリ 他	11	波多野正之 大磯町西小磯	0302	H20. 3. 12	衣服	一括	曾根田純一郎 大磯町高麗

〈採集資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2007-0901	H19. 9. 14	大磯層の化石アソック	一括	—

(移管資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2007-1108	H19. 11. 27	地質調査委託報告書	1	大磯町財政課

(寄託資料)

(敬称略、寄託期間：H18. 4. 1～H20. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2006-0401	H18. 4. 1	高札	3	坂井保治 大磯町黒岩	0413	H18. 4. 1	書籍 他	一括	飯島容子 横浜市中区
0402	H18. 4. 1	一本松稲荷講中資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯	0414	H18. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
0403	H18. 4. 1	菊池重三郎関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0415	H18. 4. 1	書幅	1	二宮勝男 平塚市下吉沢
0404	H18. 4. 1	書(断片)	一括	加藤文八 平塚市諏訪町	0416	H18. 4. 1	随神 他	3	南本町区
0405	H18. 4. 1	古文書	一括	後藤 勲 大磯町月京	0417	H18. 4. 1	稲荷講	一括	戸塚 浩 大磯町西小磯
0406	H18. 4. 1	書籍	2	山川 正 大磯町国府新宿	0418	H18. 4. 1	古文書	一括	小見滋夫 大磯町西小磯
0407	H18. 4. 1	七夕資料 他	一括	西小磯西子ども会	0422	H18. 4. 18	クワックス [®] デーン看板	1	添田光雄 大磯町国本部
0408	H18. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0501	H18. 5. 10	古文書	一括	近藤敏一郎 東京都新宿区
0409	H18. 4. 1	古文書 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0502	H18. 5. 10	雛人形	一式	田川順三 横浜市緑区
0410	H18. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区	0506	H18. 5. 30	木造仁王像	一括	慶覚院 大磯町高麗
0411	H18. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区	0702	H18. 7. 20	木造神像 他	12	高来神社 大磯町高麗
0412	H18. 4. 1	獅子頭	2 (一対)	裡道区	2007-0204	H19. 2. 15	島崎藤村写真(追加)	5	菊池なつみ 大磯町大磯

(購入資料)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2007-1105	H19. 11. 16	引札	1	福地書店 群馬県伊勢崎市	2007-1207	H19. 12. 28	絵はがき 他	2	秦川堂書店 東京都千代田区

〈資料の特別利用〉

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
館内展示	—	撮影 ／個人研究	H19. 4. 21	個人	企画展示	—	撮影 ／絵本作成	H19. 11. 23	個人
マツリボネ、サルンボ	—	撮影 ／刊行物掲載	H19. 5. 20	M3 穂小田原 編集部	館内展示	1	撮影 ／参考資料	H19. 11. 24	個人
アオバト剥製	1	撮影 ／個人的趣味	H19. 6. 2	個人	考古資料	8	撮影 ／卒業論文	H19. 11. 27	個人
館内展示	—	撮影 ／教材作成	H19. 6. 8	個人	考古資料	2	撮影 ／卒業論文	H19. 11. 27	個人
館内展示	—	撮影 ／教材作成	H19. 6. 9	個人	考古資料	18	撮影 ／参考資料	H19. 11. 27	個人
ポーションテナー	4	撮影 ／参考資料	H19. 6. 19	隈大東	資料撮影機材 設定状況	1	撮影 ／刊行物掲載	H19. 12. 4	個人
考古資料	10	撮影 ／研究発表	H19. 7. 5	山梨県立 博物館	館内展示	—	撮影 ／個人学習	H19. 12. 12	個人
小島本陣文書	2	撮影 ／刊行物掲載	H19. 7. 5	松戸市立 博物館	館内展示	—	撮影 ／個人の記念	H19. 12. 19	個人
企画展示	—	撮影 ／ホームページ掲載	H19. 7. 24	個人	館内展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 12. 26	個人
考古資料	3	撮影 ／参考資料	H19. 7. 26	神奈川県 教育委員会	船舶 他	4	撮影 ／ホームページ掲載	H20. 1. 6	個人
松本順貞肖像画	4	撮影 ／研究発表	H19. 8. 2	個人	ソロバン	21	撮影 ／研究資料	H20. 1. 14	個人
加藤家資料	一括	閲覧 ／研究発表	H19. 8. 8	個人	絵はがき・ 館内展示	一括	撮影 ／刊行物掲載	H20. 1. 29	開館木商店
イタゴ 他	3	撮影 ／ホームページ掲載	H19. 8. 17	個人	伊藤博文資料	一括	撮影 ／研究資料	H20. 2. 1	個人
加藤家資料	33	撮影 ／研究発表	H19. 8. 26	個人	館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H20. 2. 10	個人
企画展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 8. 31	個人	館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H20. 2. 13	個人
館内展示	—	撮影 ／個人の記念	H19. 9. 1	個人	企画展示	—	撮影 ／個人的趣味	H20. 2. 16	個人
加藤家資料	53	撮影 ／参考資料	H19. 9. 2	個人	企画展雛人形	一括	撮影 ／写真展出品	H20. 2. 17	個人
絵はがき	3	撮影 ／刊行物掲載	H19. 9. 9	横浜アクティ ムミュージアム	企画展示	—	撮影 ／ホームページ掲載	H20. 2. 20	湘栄建設㈱
人物写真	2	複写 ／研究発表	H19. 9. 14	個人	キネ・ウス	—	撮影 ／刊行物掲載	H20. 2. 22	鎌倉市教育委員 会教育センター
生人形写真	1	転載 ／刊行物掲載	H19. 10. 3	だるま出版	絵はがき	1	転載 ／刊行物掲載	H20. 2. 22	横浜開港資料 館
館内展示 他	—	撮影・録音 ／テレビ放映	H19. 10. 6	KTN79エディ	企画展示	—	撮影 ／研究発表	H20. 2. 24	個人
館内展示	—	撮影 ／参考資料	H19. 10. 17	個人	館内展示	—	撮影 ／絵本作成	H20. 2. 24	個人
考古資料	8	撮影 ／修士論文	H19. 10. 20	個人	企画展示	—	撮影 ／研究発表	H20. 2. 26	個人
中川家文書	2	転載 ／刊行物掲載	H19. 10. 23	町田市 教育委員会	絵はがき 他	13	撮影 ／テレビ放映	H20. 3. 2	㈱テレビ朝 日
アサヒ映像	1	テレビ放映 ／テレビ放映	H19. 10. 30	東日本放送	館内展示	—	撮影 ／個人的趣味	H20. 3. 4	個人
別荘写真	1	転載 ／刊行物掲載	H19. 10. 31	㈱文藝春秋	企画展雛人形	—	撮影 ／ホームページ掲載	H20. 3. 5	個人
館内・外観	—	撮影 ／刊行物掲載	H19. 11. 7	個人	絵はがき 他	4	撮影 ／参考資料	H20. 3. 6	ビービー㈱
館内展示	—	撮影 ／個人の記念	H19. 11. 9	個人	館内展示	—	撮影 ／刊行物掲載	H20. 3. 13	㈱社会保険出 版社
錦絵	1	転載 ／刊行物掲載	H19. 11. 12	個人	館内展示	—	撮影 ／個人学習	H20. 3. 22	個人
マイワイ 他	3	転載 ／刊行物掲載	H19. 11. 14	だるま出版	雛人形 (企画展)	—	撮影 ／研究資料	H20. 3. 26	吉徳資料室

(資料の館外貸出)

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
考古資料 (鉄製品)	1	保存処理	H19. 4. 1 ～ 10. 25	湘東郡文化財 保存研究所	写 真 (錦絵)	1	刊行物掲載	H19. 10. 11 ～ 11. 21	神奈川県立 大磯高等学校
生人形 他	4	展示	H19. 4. 13 ～ 6. 12	神奈川県立 歴史博物館	写 真 (海水浴)	1	刊行物掲載	H19. 10. 19 ～ 12. 5	大磯町 教育委員会
考古資料	4	展示、 刊行物掲載	H19. 4. 15 ～ 7. 15	横浜市 歴史博物館	土質標本 他	4	理科教材	H19. 10. 23 ～ 11. 6	大磯町立 大磯小学校
文書資料	2	町史編さん	H19. 4. 28 ～ 5. 12	大磯町立 図書館	土師器	2	展示	H19. 11. 27 ～ H20. 2. 29	神奈川県 教育委員会
地盤調査報告書	3	参考資料	H19. 5. 30 ～ 6. 8	大磯町 財政課	考古資料・扁額	2	講座資料	H19. 12. 1 ～ 12. 1	個人
写真(祭礼)	2	刊行物掲載	H19. 6. 8 ～ 6. 13	湘南南未来 社	考古資料	1	講座資料	H19. 12. 7 ～ 12. 8	個人
文書資料	3	町史編さん	H19. 6. 29 ～ 7. 12	大磯町立 図書館	写 真 (錦絵)	1	テレビ'放映	H19. 12. 20 ～ H20. 1. 8	日本テレビ 放送網様
ビデオ(祭礼)	1	上映	H19. 7. 26 ～ 8. 14	足立区立 郷土資料館	写 真 (錦絵 他)	3	刊行物掲載	H19. 12. 21 ～ H20. 1. 9	(株)HAYUMA
マイワイ	1	展示、 刊行物掲載	H19. 7. 29 ～ 10. 12	武蔵野美術大 学美術資料図 書館	地質調査報告 書 他	3	参考資料	H20. 1. 10 ～ 1. 29	大磯町 教育委員会
考古資料 (鉄製品)	4	保存処理	H19. 8. 7 ～ H20. 3. 14	湘東郡文化財 保存研究所	写 真 (錦絵 他)	22	刊行物掲載	H20. 1. 29 ～ 3. 8	御鈴木商店
民俗調査報告書	1	夏季課題	H19. 8. 22 ～ 9. 9	個人	写 真 (陶質土器)	1	刊行物掲載	H20. 1. 27 ～ 2. 2	帝國国書院
写 真 (絵はがき)	3	刊行物掲載	H19. 8. 30 ～ 9. 18	湘南リビング 新聞社	衣服 他	17	講座資料	H20. 2. 12 ～ 2. 14	個人
写 真 (錦絵 他)	8	展示、 刊行物掲載	H19. 9. 9 ～ 10. 19	横浜マライ ミュージアム	扁額	1	講演会資料	H20. 2. 28 ～ 2. 28	個人
セーラー服 他	15	展示、 刊行物掲載	H19. 9. 29 ～ 12. 5	横浜マライ ミュージアム	写真(錦絵)	1	テレビ'放映	H20. 3. 9 ～ 3. 14	朝日テレビ
小島本陣文書	2	展示	H19. 10. 2 ～ 12. 5	松戸市立 博物館	書 籍 (震災記録)	1	修士論文	H20. 3. 18 ～ 3. 24	個人
柳田家文書	74	町史編さん	H19. 10. 6 ～ 10. 30	大磯町立 図書館	鉄道のレール	1	展示	H20. 3. 28 ～ 4. 1	大磯町 福祉課
古地図	1	町史編さん	H19. 10. 10 ～ 10. 10	大磯町立 図書館					

(備品の館外貸出)

(敬称略)

備品名	点数	利用目的	期 間	申請者	備品名	点数	利用目的	期 間	申請者
スクリーン	1	研修会	H19. 4. 11 ～ 4. 13	大磯町 総務課	マルチメディア他	2	会議	H20. 1. 8 ～ 1. 9	大磯町 総務課
マルチメディア他	2	会議	H19. 9. 28 ～ 10. 2	大磯町まち づくり課	マルチメディア他	2	研修会	H20. 1. 31 ～ 1. 31	大磯町 教育委員会
スチール椅子	50	演奏会	H19. 11. 23 ～ 11. 24	大磯城山公 園	マルチメディア他	2	講演会	H20. 2. 8 ～ 2. 9	大磯町 都市整備課
スチール椅子	50	演奏会	H19. 12. 2 ～ 12. 4	大磯城山公 園	マルチメディア他	2	会議	H20. 3. 18 ～ 3. 19	大磯町 企画室
マルチメディア他	2	会議	H19. 12. 21 ～ 12. 25	大磯町 総務課					

(寄贈図書一覧)

出版地	寄贈者	書名	発行年月
大磯町	大磯町観光協会	『ふり大磯 2』	2008/03
	神奈川県立大磯高等学校	『創立八十周年記念誌「大磯」』	2007/11
寒川町	寒川町教育委員会	『寒川町埋蔵文化財調査報告書 第4集 神奈川県高座郡寒川町岡田西河内遺跡 一第2次調査発掘調査報告書一』	2008/03
		『寒川町埋蔵文化財調査報告書 第5集 神奈川県高座郡寒川町倉見原遺跡 一第1次調査発掘調査報告書一』	2008/03
茅ヶ崎市	寒川文書館	『寒川文書館だより Vol.2, 3』	2007-2008
	茅ヶ崎市文化資料館	『文化資料館調査研究報告 15』 『茅ヶ崎 自然の新聞 第275~277号』 『茅ヶ崎市文化振興財団調査報告書13 西久保・大屋敷B集数敷道45号線道 踏改良工事に伴う第2次発掘調査報告書(遺物編)』	2007/03 2007 2008/03
秦野市	丹沢自然保護協会 秦野市教育委員会	『丹沢だより No.440~450』	2007-2008
		『秦野市立板土手古墳展示館研究紀要 第7号』	2006/03
		『秦野遺跡』	2007/03
		『塚訪原遺跡』 『秦野市史研究 第26号』	2007/03 2007/03
平塚市	神奈川県教育委員会教育局中教育事務所 東海大学文学部歴史学科考古学 第1研究室 東海大学校地内遺跡調査団 平塚市教育委員会	『社会教育資料2007 中地区の社会教育』	2007/08
		『西表網取遺跡・カトウ貝塚の研究 沖縄県西表所在の先史時代貝塚・近世 集落遺跡の発掘調査』展示解説パンフレット 『足もとに眠る歴史展「福みと織りの考古学」展示解説パンフレット』	2007/03 2006/03
	平塚市博物館	『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書12 天神前/塚越古墳/十二天』	2006/03
		『平塚市埋蔵文化財シリーズ41 山王遺跡 一第4地点一』	2006/03
		『平塚市埋蔵文化財シリーズ42 桜畑・赤坂遺跡』	2007/03
		『平塚の石仏 改訂版5 大野地区編』	2006/11
		『平塚市博物館資料No. 55 平塚市博物館所蔵地質資料目録3 岩石』	2006/12
		『平塚市博物館年報 第30号』	2007/01
		『平塚市博物館研究報告 自然と文化 第30号』	2007/03
		特別展『平塚周辺の地盤と活断層』展示解説書 『馬入水辺の楽校ガイドブック「水辺の楽校へようこそ！」』	2007/07 2008/03
藤沢市	藤沢市文書館	『旅人がみた藤沢(1) 一紀行文・旅日記抄一』	2007/03
		『藤沢市史研究 第40号』	2007/03
		『藤沢市文書館紀要 第二十九号』	2007/03
		『藤沢市片瀬大塚太道跡発掘調査報告書(ミネバア藤沢工場構内 第4次調査)』	2007/03
		『藤沢市川名新林右横六墓群発掘調査報告書(新林公園内落石工事に伴う事前調査)』	2008/01
小田原市	小田原市教育委員会	『昭和の日』制定記念資料展「ふじさわの昭和」図録	2007/08
		『久野諏訪/原丘陵の遺跡〜久野古墳と周辺遺跡〜』	2006/03
	小田原市郷土文化館	『戦国時代の小田原城を考える〜八幡山古郭の保存と活用』	2006/11
		『平成18年 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨』	2006/12
		『小田原市文化財調査報告書138集 八幡山古郭 南曲輪東掘第Ⅱ・Ⅲ地点』	2007/03
		『小田原市文化財調査報告書139集 西大右畑遺跡第Ⅰ地点』	2007/03
		『小田原市文化財調査報告書140集 久野光台遺跡第Ⅱ地点』	2007/03
		『小田原市文化財調査報告書141集 池上前畑遺跡第Ⅰ地点』	2007/03
		『小田原市文化財調査報告書142集 平成15年度試掘調査(2)』	2007/03
		『小田原市郷土文化館研究報告書 No.43』	2007/03
特別展『出土品が語る小田原の歴史 悠久の美』図録 『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学 36号』 『神奈川県自然誌資料 第28号』 『読みもの「ナウマンゾウがいた！」』 『神奈川県立生命の星・地球博物館 年報 第12号 (2006年度)』 『自然科学のとびら 48-52号』	2007/10 2007/03 2007/07 2007/08 2007/10 2007-2008		
中井町	中井町民生部保健福祉課	『神奈川県高座郡中井町 井ノ口順礼塚遺跡 町立井ノ口保育園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』	2008/03
		『館報 第23号』	2007/03
箱根町	箱根町立郷土資料館	『館報 第24号』	2007/08
		企画展『箱根山中 村むらの仏たち』図録 『箱根ラリック美術館コレクション選』	2007/10 2005/03
真鶴町	箱根ラリック美術館	『舞い踊る文様』	2006/04
		『しあわせの髪飾り ーラリックの櫛、日本の櫛ー』	2007/06
真鶴町	中川一政美術館	『美術館だより 第15号』	2007/03
		『神奈川県立丹沢湖ビジターセンターだより No.1~3』	2007-2008
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター 山北町教育委員会	『河村城跡 神奈川県指定史河村城跡史跡整備に伴う発掘調査Ⅰ』	2007/03
		『神奈川県山北文化財調査報告書1 河村城跡 神奈川県指定史跡史跡整備に伴う発掘調査』	2007/03
横浜市	岩崎博物館(ゲータ座記念)	『足柄乃文化 第34号』	2007/03
		『岩崎ミュージアムプレス 第101~106号』	2007-2008

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
	馬の博物館	春季特別展『三国志をいどる馬たち』図録	2007/04
		秋季特別展『馬のシルクロード -馬と馬文化- 通かなる道-』図録	2007/10
	神奈川近代文学館	『神奈川近代文学館 年報 2006年(平成18年)度』	2007/07
		『神奈川近代文学館 第96~99号』	2007-2008
	神奈川県教育委員会	『神奈川県埋蔵文化財調査報告50』	2006/11
		『神奈川県埋蔵文化財調査報告51』	2007/11
		かながわの遺跡展2006巡回展『東人の世界 -発掘された神奈川県の奈良・平安時代-』	2007/12
		『神奈川県埋蔵文化財センター 年報19 平成18年度』	2007/06
	神奈川県博物館協会	『NETWORK 第28号』	2007/09
		『神奈川県博物館協会会報 第79号』	2007/12
	神奈川県民俗芸能保存協会	『かながわの民俗芸能 第71号』	2007/03
	神奈川県立公文書館	『平成18年度 神奈川県立公文書館年報』	2007/06
		『神奈川県立公文書館だより 第18号』	2007/09
	神奈川県立図書館	『郷土神奈川 第46号』	2008/02
		『神奈川の歴史文庫55 神奈川県関係基本資料解説目録』	2008/03
	神奈川県立歴史博物館	特別展『ようこそかながわへ -20世紀前半の観光文化-』図録	2007/04
		特別展『歌川広重没後150年記念 広重が描いた日本の風景』図録	2007/07
		『神奈川県民俗調査報告24 分類神奈川方言辞典(IV) -娯楽、行動、性情、時間、空間、その他-』	2007/03
		『神奈川県立歴史博物館年報 平成18年度』	2007/11
		『神奈川県立歴史博物館だより 174~177号』	2007-2008
		特別展『宋元仏画』図録	2007/10
	(財)かながわ考古学財団	『かながわ考古学財団調査報告205 中衣遺跡群 第一分冊・中世以降』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告205 中衣遺跡群 第二分冊・縄文・奈良・平安時代』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告208 湘南新道関連遺跡Ⅰ 大倉原遺跡 六ノ城遺跡 都市計画道路3-3-6号(湘南新道)建設に伴う発掘調査』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告210 湘南新道関連遺跡Ⅲ 大倉原遺跡 六ノ城遺跡 都市計画道路3-3-6号(湘南新道)建設に伴う発掘調査』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告211 上行寺裏遺跡(瀬戸14番地やぐら群)』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告213 早川石丁場群 間白支群 広城農業整備事業(小田原湯河原線)に伴う発掘調査(上行寺裏遺跡(瀬戸15番地やぐら群))』	2007/03
		『かながわ考古学財団調査報告214 上依知上谷戸遺跡 一般国道468号(さかみ縦貫道路)建設に伴う厚木市上依知区の発掘調査』	2007/11
		『かながわ考古学財団調査報告215 西野やぐら群』	2007/10
		『かながわ考古学財団調査報告216 多古上山神跡第Ⅱ地点』	2007/12
		『かながわ考古学財団調査報告217 上行寺裏遺跡(瀬戸14番地やぐら群)Ⅱ』	2007/12
		『かながわ考古学財団調査報告218 三ツ俣遺跡Ⅴ(Ⅰ地区)富士見橋架替(総合流域防災)事業に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告219 会下山西やぐら群Ⅲ 平成18年度 鎌倉市内急傾斜地(二階堂会下地区)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告220 青砥藤綱邸跡内やぐら 平成18年度 鎌倉市内急傾斜地(浄妙寺五丁目)崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告221 円覚寺旧境内遺跡 平成18年度 鎌倉市内急傾斜地(山ノ内端鹿山地区)崩壊対策工事に伴う調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告222 下北原遺跡Ⅱ 伊勢原調整池築造工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告223 小出川河川改修事業関連遺跡群Ⅰ 小出川河川改修事業関連遺跡群Ⅰ 茅ヶ崎市西方A遺跡 寒川町岡田南河内遺跡 小出川河川改修事業に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告224 小出川河川改修事業関連遺跡群Ⅱ 茅ヶ崎市七堂伽藍跡(1)寒川町大曲五反田遺跡 小出川河川改修事業に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告書225 上行寺裏遺跡(六浦二丁目5番地やぐら群)平成18、19年度六浦二丁目南地区傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告書226 森浅間山横穴墓群 平成18年度 森町B地区急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『かながわ考古学財団調査報告227 瀬ヶ崎和田山遺跡 平成19年度 六浦東一丁目地区急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査』	2008/03
		『考古学財団発掘誌1~3号』	2007-2008
	シルク博物館	『シルク博物館 資料集2 港・横浜・絹の街』	2007/03
		『シルク博物館 資料集3 糸糸関係年表集』	2007/03
		『シルク博物館 資料集4 シルクの豆知識』	2007/03
	玉川文化財研究所	『神奈川県平塚市 新町遺跡第8地点 発掘調査報告書』	2006/05
		『神奈川県横浜市 荏子田南横穴墓群 第2次調査報告書(青葉区No.49遺跡)』	2006/07

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
		『神奈川県平塚市 新町遺跡第9地点 発掘調査報告書』	2006/09
		『神奈川県藤沢市 葛蒲沢大谷遺跡 発掘調査報告書』	2006/10
		『神奈川県小田原市 山角町遺跡第IV地点・発掘調査報告書』	2006/11
		『神奈川県厚木市 恩名沖原遺跡 第8地点 発掘調査報告書』	2006/12
		『神奈川県平塚市万田貝塚(万田遺跡第9地点)発掘調査報告書』	2007/01
		『川崎市 上麻生日光台遺跡 第II地区発掘調査報告書』	2007/01
		『横浜市金沢区光博寺北やぐら群 発掘調査報告書』	2007/03
		『藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群発掘調査報告書 葛原東山田地区第1地点・第2地点 円行上河内地区 各地区の干偏調査および試掘調査』	2007/03
		『藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域遺跡群 発掘調査報告書 葛原東山田地区第4地点』	2007/03
		『神奈川県藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域遺跡群 発掘調査報告書 葛蒲沢大谷地区第2地点・第3地点』	2007/03
		『神奈川県海老名市 望地遺跡 第8次調査 発掘調査報告書』	2007/03
		『横浜市港南区 下永6丁目遺跡 発掘調査報告書』	2007/04
		『神奈川県鎌倉市今小路西遺跡 発掘調査報告書葛原東山田地区第3地点 高蒲沢大谷地区第4地点』	2007/04
		『横浜市戸塚区 立野遺跡 発掘調査報告書』	2007/05
		『神奈川県藤沢市 稲荷台地遺跡第2地点 発掘調査報告』	2007/05
		『川崎市麻生区 上麻生日光台遺跡 第III地区 発掘調査報告書』	2007/06
		『川崎市高津区 上作延横穴墓 第2次調査 発掘調査報告書』	2007/06
		『神奈川県海老名市 本郷谷津遺跡第14次調査』	2006/02
		『横浜市戸塚区 かめも橋北遺跡・丸山塚』	2006/10
		『久野中久野遺跡第1地点』	2006/11
		『東京都大田区 久が原グリーン・ハイム内遺跡(旧石器時代・縄文時代編)』	2006/12
		『神奈川県小田原市 千代原南遺跡Ⅲ地点』	2007/03
		『大ロウ文化提根又塚(三ノ塚)遺跡』	2007/03
		『横浜市緑区 北岡古墳群Ⅰ』	2007/03
		『石田・源太遺跡第VI地点』	2007/03
		『ニュースパークたより/NIEニュース No.33, 34/第47, 48号』	2007
		『横浜の文化財 一横浜市文化財総合調査概報(十九)一』	2007/03
		『明神台遺跡A地区埋蔵文化財発掘調査報告』	2006/03
		『茅ヶ崎市城址埋蔵文化財発掘調査報告』	2007/03
		『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告』	2007/03
		『財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 年報 平成18年度版』	2007/10
		『羽沢具行遺跡・羽沢丸遺跡発掘調査報告』	2008/01
		『増上こはま 第14, 15号』	2006-2007
横浜市歴史博物館		『釜利谷1 横浜市金沢区釜利谷開発地区埋蔵文化財発掘調査報告書(第1集)』	1976/06
		『釜利谷2 横浜市金沢区釜利谷開発地区埋蔵文化財発掘調査報告書(第2集)』	1977/12
		『横浜市歴史博物館紀要 第10号』	2006/03
		『横浜市歴史博物館紀要 第11号』	2007/03
		『不思議なかたちの道具たち(洗濯と虫退治)』	2006/07
		『吉田新田ができるまで』	2006/10
		『特別展『横浜の礎 吉田新田いまわし』図録』	2006/10
		『企画展『横浜の神代神楽 一神楽師たちの近世・近代一』図録』	2007/03
		『横浜市歴史博物館資料目録 第15集』	2007/03
		『横浜市歴史博物館 調査報告 第3号』	2007/03
		『ヒトが移る、モノが動く 古代の東国にその痕跡を探る』	2007/04
横浜都市発展記念館		『横浜市発展記念館紀要 第3号』	2007/03
		『ハマ発 Newsletter 第9号』	2007/10
川崎市	(有)有明文化財研究所	『東京都大田区 山王遺跡 発掘調査報告書 一山王二丁目9番12号地点調査一』	2007/09
川崎市教育委員会		『武蔵国橋本郡賀衝推定地 千歳伊勢台遺跡 一第7次発掘調査報告書一』	2004/03
		『武蔵国橋本郡賀衝推定地 千歳伊勢台遺跡 一第8次発掘調査報告書一』	2004/03
		『橋本郡賀衝推定地確認調査の成果 古代川崎発見』	2006/02
		『川崎市文化財調査集録 第41集』	2006/03
		『川崎市文化財調査集録 第42集』	2007/03
		『シンポジウム『古代の川崎市役所を発掘する』記録集』	2007/03
		『平成18年度 川崎市埋蔵文化財調査年報』	2007/11
		『川崎市宮前区 初山発掘調査報告書』	2008/03
川崎市市民ミュージアム		『川崎市市民ミュージアム紀要 第19集』	2007/03
		『museum news Vol.76』	2007/12
川崎市立日本民家園		『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』	2007/07
		『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』	2008/01
		『日本民家園だより vol.65, 66』	2007-2008
逗子市	逗子市教育委員会	『国指定史跡名越切通保存管理計画策定報告書』	2001/03

出版地	寄贈者	書名	発行年月
		『国指定史跡名越切通保存管理計画(別冊)』	2007/03
		『国指定史跡名越切通整備実施計画』	2007/03
		『国指定史跡名越切通崩落対策工事報告書』	2007/03
		『神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書5 平成15年度 平成16年度 平成17年度』	2007/03
		『神奈川県逗子市・葉山町 長柄桜山 平成18年度国指定史跡長柄桜山古跡群の発掘調査』	2007/06
鎌倉市	鎌倉国宝館	『鎌倉志料』	2007/12
	鎌倉市教育委員会	『鎌倉の埋蔵文化財10 平成17年度発掘調査の概要』	2007/03
		『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書23 平成18年度調査報告書(第1分冊)』	2007/03
	鎌倉文化研究会	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書23 平成18年度調査報告書(第2分冊)』	2007/03
		『鎌倉 第百三号』	2007/06
		『鎌倉 第百四号』	2007/12
	鶴岡八幡宮社務所	『鎌倉 第百四号』	2007/12
横須賀市	横須賀市教育委員会	『横須賀市文化財調査報告書第42集 神明社前遺跡発掘報告 小原台堡塁跡調査報告 埋蔵文化財発掘調査概報集XIV 平成16年度新指定重要文化財調査報告』	2007-2008
		『横須賀市文化財調査報告書第43集 横須賀軍工廠造機部製罐工場ほか建物及び同クレーン調査報告書』	2006/03
		『横須賀市文化財調査報告書第44集 久留和遺跡C地点発掘調査報告 宗元寺跡C.D地点確認調査報告 埋蔵文化財発掘調査概報集XV 近代遺跡・近代化遺産調査概報集I 平成17年度新指定重要文化財調査報告』	2006/03
		『横須賀市埋蔵文化財調査報告書第13集 猿島遺跡群4(猿島遺跡・猿島湖六・猿島台場跡・猿島砲台跡) 一猿島公園整備事業に伴う確認調査の記録一』	2007/03
	横須賀市自然・人文博物館	『よすの文化財』	2007/03
		『横須賀市博物館研究報告(人文科学) 第51号』	2007/02
		『横須賀市博物館報 第52号』	2007/03
		『横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第54号』	2007/03
		『横須賀市博物館資料集 第31号 三浦半島の昆虫目録』	2007/03
	横須賀美術館	『はじまりのはじまり 一プレ美術館活動記録一』	2007/07
		『横須賀美術館プロモーションDVD』	-
		『Corridor 横須賀美術館ニュース 第1号』	2008/01
三浦市	三浦市教育委員会	『三浦市埋蔵文化財調査報告書 平成16年度遺跡発掘調査』	2007/03
葉山町	葉山しおさい博物館	『相模湾の深海生物 一貝類・甲殻類一』	2007/03
		『潮騒たより No.18』	2007/03
厚木市	厚木市教育委員会	『平成17年度 厚木市文化財年報 第5号』	2007/03
		『平成18年度 厚木遺跡展 厚木の低地遺跡』	2007/03
		『厚木市埋蔵文化財調査報告書 第6集 林南遺跡 第3地点』	2007/03
	神奈川自然環境保全センター グリーンタフ事務局	『神奈川自然保全センター報告 第4号』	2007/03
		『自然観察 308~319号』	2007-2008
綾瀬市	綾瀬市教育委員会	『綾瀬市史研究 第10号』	2007/09
		『市史たより 第31号』	2008/03
海老名市	(有)ブラフマン	『神奈川県海老名市 国分寺北方遺跡第30次調査』	2007/04
		『神奈川県海老名市 国分寺北方遺跡第31次調査』	2007/06
		『神奈川県海老名市 門沢橋跡掘調査』	2007/06
相模原市	神奈川自然保全研究会 相模原市教育委員会	『神奈川自然保全研究会報告書 第17号 2002~2006年度報告』	2007/04
		『相模原市埋蔵文化財調査報告書34 磯部宮跡跡E地点(仮称)新磯分署建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』	2006/12
		『相模原市埋蔵文化財調査報告書35 上鶴間上深田向遺跡 相模原市都市計画道路相模大野線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』	2006/12
	相模原市立博物館	『平成18年 相模原市文化財年報』	2006/12
		『相模原市立博物館研究報告第16集』	2007/03
		『相模原市立博物館News Vol.46~50』	2007-2008
座間市	座間市教育委員会	『座間むかしむかし 第二十九集』	2007/03
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	特別展『御仏のかたちⅡ 一稲敷市桜川地区仏教遺宝展一』図録	2007/01
		特別展『孤忠の人 根本正 一青雲の剣一』図録	2007/03
		企画展『あんば大杉、モノクロームの記憶』図録	2007/07
	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	『茨城県土浦市 中高津西原遺跡 一建売分譲事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2007/08
		『土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場 年報 第13号 2006(平成18)年度』	2007/10
	小美玉市玉里史料館 土浦市教育委員会	『小美玉市史料館報 第1号』	2007/03
		『茨城県土浦市 一保育園建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2007/04
		『茨城県原谷門C遺跡(第2次調査) 一宅地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2007/07
		『茨城県土浦市 尻替遺跡 田村・沖宿土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』	2007/09

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
栃木県	小山市立博物館	企画展『妻のあるくらし』図録	2007/04
		『小山市立博物館館報 第24号 平成18年度版』	2007/09
	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 (株)日本農業史研究所	収蔵展『まちのアルバム くらしのアルバム』図録	2007/10
		特別展示『下野国分寺風土記 発掘25年の成果』図録	2007/09
		『栃木県立しもつけ風土記の丘資料館館報 第21号(平成18年度版)』	2007/09
『神奈川県伊勢原市 板戸・八雲殿遺跡跡第3地点』	2007/06		
『神奈川県海老名市 国分寺北方遺跡 一第27、28調査一』	2007/03		
『川崎市麻生区 上麻生日光遺跡』	2007/03		
群馬県	渋川市教育委員会	『群馬県渋川市 道訓前遺跡 一赤城山麓に栄えた縄文文化一』	2007/09
	沼田市教育委員会	『企画展『焼町土器と素敵な仲間たち』図録』 『下宿浦遺跡』	2007/09 1992/03
『足形原月夜野遺跡』	2005/11		
埼玉県	春日部市教育委員会文化財保護課	『春日部市庄和町史編さん資料(14)原帖・古代資料 一考古一』	2007/03
		『春日部市埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集 塚内14号墳 一埼玉斎場 拡張に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』	2007/03
		『春日部市埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集 貝の内遺跡 2. 20. 21. 22. 23. 24次地点 小洲山下遺跡4次地点』	2007/03
		『かわはく No.28~31』	2007-2008
		『租税史料館報 平成18年度版』	2007/07
さいたま市の博物館 税務大学校 税務情報センター 鶴ヶ島市遺跡調査会 日高市教育委員会	『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告第61集 仲道柴山遺跡第11次発掘調査報告書』	2008/03	
	『日高町埋蔵文化財調査報告第1集 新宿 一第2次発掘調査報告一』	1981/03	
『日高町埋蔵文化財調査報告第2集 大寺廃寺 一第1次発掘調査概報一』	1982/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第3集 宿東・後耕池』	1982/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第4集 新宿 一第1次発掘調査報告一』	1982/08		
『日高町埋蔵文化財調査報告第5集 若宮 一第3次発掘調査概報一』	1983/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第6集 上野ヶ谷戸遺跡』	1984/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第7集 若宮 一第2次発掘調査報告一』	1984/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第8集 大寺廃寺 遺跡』	1984/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第9集 宮久保遺跡 上の発掘跡 大寺廃寺跡』	1985/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第10集 宿東遺跡 一第2次発掘調査報告書一』	1986/02		
『日高町埋蔵文化財調査報告第11集 若宮 一第1発掘調査一 堀の内』	1986/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第12集 古道 大寺廃寺』	1987/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第13集 宮ノ後遺跡・宿東遺跡 一第4次調査一 第5次調査一』	1988/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第14集 若宮 一第7次調査一 稲荷・神明』	1989/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第15集 稲荷』	1990/03		
『日高町埋蔵文化財調査報告第16集 若宮(第10次調査)』	-		
『日高町埋蔵文化財調査報告第17集 若宮遺跡 一第11調査一 東原遺跡 一第3次調査一』	1991/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第18集 若宮 一第13次調査一 平谷遺跡』	1992/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第19集 新宿 一第3.4次発掘調査報告一』	1992/11		
『日高市埋蔵文化財調査報告第20集 長山甲』	1993/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第21集 新宿 一第5次調査一 若宮 一第16.18次調査一』	1993/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第22集 向谷遺跡 宿方遺跡』	1993/09		
『日高市埋蔵文化財調査報告第23集 小竹遺跡』	1994/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第24集 宿東 一第7次調査一』	1994/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第25集 宿東 一第9.10次調査一』	1995/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第26集 若宮 一第25調査一 常木久保 一第40区調査一』	1997/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第27集 五反田』	1997/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第28集 稲荷 一第7次調査一 稲荷 一3次調査一 若宮 一30次調査一 八幡』	1999/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第29集 大日向 発露』	1999/09		
『日高市埋蔵文化財調査報告第30集 小河原』	2000/08		
『日高市埋蔵文化財調査報告第31集 常木久保 稲荷 神明』	2003/03		
『日高市埋蔵文化財調査報告第32集 寺脇』	2006/03		
富士見市立難波田城資料館 立正大学博物館	春季企画展『富士見の修験道 一十三院と般若院一』図録	2007/03	
	『館蔵資料「基礎文庫」叢刊 第二輯 吉田格氏収集寄贈 縄文文化資料』	2007/03	
	『立正大学博物館館報5 平成18年度』	2007/09	
	『4回特別展『立正大学の海外調査展』』	2007/12	
	『伊能忠敬記念館年報 第8号 平成17年度』	2007/03	
千葉県	伊能忠敬記念館	『伊能忠敬記念館年報 第9号 平成18年度』	2008/03
	国立歴史民俗博物館	特別展『西日本測量と絵地図』図録	2007/10
		『西のみやこ 東のみやこ 一描かれた中・近都市一』	2007/04
		『れきはくはくこうよ 2003 国立歴史民俗博物館 博物館研究プロジェクト 活動報告書』	2005/09

出版地	寄贈者	書名	発行年月
		『れきはくにいこうよ 2004～2005 国立歴史民俗博物館 博物館研究プロジェクト活動報告書』	2007/03
		『弥生はいつから!? 一年代研究の最前線-』	2007/07
		『長岡京遷都 桓武と激動の時代』	2007/10
		『れきはくにいこうよ 2006 国立歴史民俗博物館 教育関連活動報告』	2007/11
		特別展『房総と熊野』図録	2007/09
	袖ヶ浦市郷土博物館	『市立市川考古博物館館報 第34号』	2007/03
	市立市川考古博物館	『平成17年度 市立市川自然博物館年報(No.17)』	2007/03
	市立市川自然博物館	『市立市川自然博物館だより 第103～108号』	2007-2008
		『ミュージアム発見伝 No.78～80』	2006-2007
	館山市立博物館	『千葉県立中央博物館 研究報告 人文科学 第10巻 第1号』	2007/03
	千葉県立中央博物館	『松戸市立博物館年報 第14号』	2007/08
	松戸市立博物館	企画展『大名の旅 一本陣と街道-』図録	2007/10
		『まつミュージアム No.16』	2007/08
東京都	(有)吾妻考古学研究所	『神奈川県海老名市 望地遺跡 第6次調査- 発掘調査報告書』	1999/04
		『川崎市高津区 末永向台遺跡 発掘調査報告書』	2003/07
		『川崎市宮前区 小台遺跡第2地点 発掘調査報告書』	2005/03
		『川崎市宮前区 十三善地古遺跡 第2次発掘調査報告書-』	2005/09
		『川崎市高津区 下作延巳ノ谷遺跡第5次調査 発掘調査報告書』	2005/09
		『神奈川県藤沢市 御袋幣山(第5次調査)』	2007/05
		『横浜市港北区 藤原大原北遺跡』	2007/05
		『横浜市都筑区 藪根不動原遺跡 発掘調査報告書(第1分冊)。(第2分冊)』	2007/05
	板橋区教育委員会	『板橋区文化財年報7 平成16・17年度』	2007/03
		『歴史民俗研究 第4輯 櫻井重受賞論集-』	2007/03
		『文化財シリーズ第92巻 板橋区域旧軍施設関連文書目録』	2007/03
		『文化財シリーズ第93巻 藤崎成子氏寄贈写真真景 昭和の風景』	2008/02
	板橋区立郷土資料館	特別展『時代を拓いた男と女 -考古学者・和島誠一と高群逸枝・平塚らいてう- 市川房枝-』図録	2007/09
		『板橋区立郷土資料館紀要第16号・年報 第18/19合併号』	2007/03
		特別展『所荘古コレクションと西洋兵学』図録	2008/02
	大田区立郷土博物館	『大田区立郷土博物館紀要 第17号 平成18(2006)年度』	2007/03
		特別展『川瀬巳水 旅情詩人と呼ばれた版画家』一没後50年-』図録	2007/10
	お札と切手の博物館	『お札と切手の博物館ニュース Vol.23』	2007/11
	外務省外交史料館	『外交史料館報 第21号』	2007/12
	共和開発株式会社	『舟渡遺跡第5地点発掘調査報告書 一舟渡二丁目11番地18号地点-』	2006/09
		『東京都板橋区 向屋敷遺跡第2地点発掘調査報告書 南常磐台一丁目222番10号地点』	2006/11
		『徳丸森木遺跡第2地点発掘調査報告書 一徳丸5丁目29番3号地点-』	2007/02
		『東京都板橋区 舟渡遺跡第6地点発掘調査報告書 一舟渡二丁目6番地点』	2007/10
		『東京都板橋区 舟渡遺跡第6地点発掘調査報告書 一舟渡二丁目5番地点』	2007/12
		『東京都板橋区 前野兎谷遺跡第2地点発掘調査報告書 一前野町五丁目27番地点-』	2007/10
		『東京都板橋区 赤塚野口遺跡 発掘調査報告書 一赤塚五丁目1番地点-』	2008/02
	くにとち郷土文化館	企画展『滝乃川学園 石川亮一、筆子の奇跡』図録	2007/10
	国立科学博物館	『自然と科学の情報誌 nilsil 第1、2号』	2008
	駒澤大学渾文化歴史博物館	参考資料展『やまの考古学』図録	2007/06
		『駒澤大学渾文化歴史博物館 絵画 墨蹟編 2』	2007/08
		開館50周年記念展示『渾林墨蹟と水芭蕉曼陀羅 一無心の世界-』図録	2007/09
		『図書館誌』にみる駒大図書館史【その2】	2007/03
		企画展『竹と杉らす』図録	2007/11
	次大塚公園民家園	特別展『日本考古学は品川から始まった 一大森貝塚と東京の貝塚-』図録	2007/10
	品川区立品川歴史館	特別展『重光英とその時代 一昭和の動乱から国連加盟へ-』図録	2007/11
	衆議院憲政記念館	『昭和のくらし研究 第5号』	2007/01
	昭和館	特別企画展『学生たちの戦中・戦後』図録	2007/03
		特別企画展『永遠に伝えたい記憶 一戦中・戦後のくらし-』図録	2007/10
		特別企画展『オリンピック栄光とその影に 一アムステルダム大会から東京大会まで-』図録	2008/02
	杉並区立郷土博物館	写真展『レンズの記憶～杉並、あの時、あの場所～』図録	2007/10
		南相馬市博物館・杉並区立郷土博物館共催展『相馬野馬追 一受け継がれる武家の伝統-』図録	2007/11
		『博物館だより 一が辺閑話- No.37』	2007/10
	大正大学学芸員課程	『大正大学学芸員課程年報 第11号(平成18年度)』	2007/03
	台東区立下町風俗資料館	『下町風俗資料館 號外 3月1日』	2008/03
		特別展『写真展 下町の記憶 一アマチュアカメラマン加藤益五郎が写した風景-』図録	2007/09
	高橋山金剛寺	『高橋不動尊金剛寺の指定文化財』	2007/10

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月				
玉川大学教育博物館		『玉川大学教育博物館 続報』	2007/03				
		『博物館ニュース 集(SHU) No. 29』	2007/08				
		『玉川大学教育博物館 館報 第5号 2006年度』	2008/03				
		『玉川大学教育博物館 紀要 第5号』	2008/03				
		『地域文化資産ポータル Vol. 1〜3』	2006-2008				
		特別展『夢二』永遠の女 笠井彦乃『図録』	2007/03				
		『郷土天文館だより 第2号』	2007				
		『東京都調布市深大寺城跡 調布市埋蔵文化財調査報告書』	2007/03				
		『東京都調布市染地遺跡—第51地点(小学校給食室建設工事)の調査— 調布市埋蔵文化財報告集刊2』	2007/03				
		『東京都調布市埋蔵文化財年報 —平成17年度— (2005)』	2007/03				
地域文化デジタル化推進協議会 中央区立郷土天文館		『東京都調布市埋蔵文化財年報 —平成18年度— (2006)』	2007/11				
		『調布の文化財 第41号』	2007/05				
		『調布市埋蔵文化財調査報告77 東京都調布市 染地遺跡 —第25地点(宅地造成工事)の調査—』	2005/03				
		『調布市埋蔵文化財調査報告78 東京都調布市 国領南遺跡 —第10地点(第1次・第2次調査)—』	2005/03				
		『調布市埋蔵文化財調査報告79 東京都調布市 飛田給遺跡 —第61地点(宅地造成工事)の調査—』	2005/03				
		『調布市埋蔵文化財調査報告書 東京都調布市中耕遺跡 —第56地点(工事建設)の調査—』	2007/03				
		『調布市埋蔵文化財調査報告書 入間町城山遺跡 —第28地点(NTT東日本 研修センター内)の調査—』	2008/02				
		企画展『野川が映した三万年 —旧石器時代のくらしを探る—』図録	2007/08				
		『大庭羽根遺跡跡 藤沢市No.162西部226地点遺跡』	2007/10				
		テイケイトレード(株) (財)伝統文化活性化国民協会		『伝統文化 平成19年初夏 伝統文化こども教室特集号 通巻No.23』	2007/06		
『伝統文化 平成19年秋号 通巻No.24』	2007/09						
『東京家政学院生活文化博物館年報 第17号』	2008/03						
『東京都江戸東京博物館研究報告 第13号』	2007/03						
『江戸東京博物館NEWS vol.57〜59』	2007						
『平成19年度東京都美術館年報』	2007/08						
『豊島区郷土資料館調査報告書 第18集 鉄道関係史料 I —日本鉄道編—』	2006/09						
『生活と文化 研究紀要 第16号』	2006/09						
『豊島区郷土資料館調査報告書 第19集 旧田島平良家長長門総合調査』	2007/03						
企画展『A・LA・SUGAMO(あらすがも) —中山道と鳥鴨地域—』	2007/10						
東京家政学院生活文化博物館 東京都江戸東京博物館		『豊島の集団学童疎開資料集(9)日記・書籍編VⅢ—長崎第二国民学校(その2) 長崎第三国民学校』	2008/02				
		『生活と文化 研究紀要 第17号』	2008/03				
		『豊島区郷土資料館だより かつりへ No.82〜89』	2006-2008				
		『イギリス博物館の現状と課題』	2007/03				
		『博物館の望ましい姿シリーズ11 誰にもやさしい博物館づくり事業高齢者プログラム』	2007/03				
		『少年自然の家等の自然環境を活用した自然観察玉手箱100(CD-ROM)』	2007/03				
		『誰にでもやさしい博物館づくり事業 外国人対応』	2007/03				
		『誰にでもやさしい博物館づくり事業 バリアフリーのために』	2007/03				
		『博物館の経営・運営指標(ベンチマーク)報告書〜評価システム導入・詳細版の開発〜』	2007/03				
		『誰にでもやさしい博物館づくり事業 欧米における博物館のアクセシビリティに関する報告書』	2007/03				
(社)日本ユネスコ協会連盟 パルテノン多摩		『世界遺産年報2008 特集 産業遺産』	2007/12				
		特別展『関戸合戦 多摩市関戸に残る中世の伝承とその背景』	2007/03				
		『パルテノン多摩《博物館部門》年報 第9号 2005年度』	2007/08				
		『MUSEUM NEWS vol. 6, 7』	2007				
		『府中市郷土の森博物館年報 第21号』	2008/01				
		『府中市郷土の森博物館紀要 第21号』	2008/03				
		『府中市内家分け古文書目録 10』	2007/04				
		『府中市内家分け古文書目録 11』	2008/03				
		『府中市郷土の森博物館ブックレット9 富本常一の見た府中』	2007/03				
		『あるむげお No.80〜82』	2007				
府中市郷土の森博物館		『ふっさ 福生 —あしむ郷土資料室—』	2007/02				
		『福生市郷土資料室年報26 —平成17年度—』	2007/03				
		『近代戦争のあゆみと戦時下の福生 —平和のための戦争資料展—』	2007/08				
		『福生市郷土資料室年報27 —平成18年度—』	2008/03				
		『Cultivate No.30』	2007/08				
		『文庫レポート 第24号』	2007/08				
		『自由民権 開館20周年記念号』	2007/03				
		『民権ブックス20号 『三多摩自由民権資料集』人名検索』	2007/03				
		福生市郷土資料室		『文庫レポート 第24号』	2007/08		
				『自由民権 開館20周年記念号』	2007/03		
『民権ブックス20号 『三多摩自由民権資料集』人名検索』	2007/03						
(株)文化環境研究所				『自由民権 開館20周年記念号』	2007/03		
				『民権ブックス20号 『三多摩自由民権資料集』人名検索』	2007/03		
				町田市立自由民権資料館		『自由民権 開館20周年記念号』	2007/03
						『民権ブックス20号 『三多摩自由民権資料集』人名検索』	2007/03

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
港区教育委員会	港区教育委員会	『近江山上藩稲垣家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅰ』	2004/03
		『近江山上藩稲垣家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	2004/03
		『港区埋蔵文化財調査年報4 平成17年度の調査-』	2007/03
		『港郷土資料館館報 -24- 平成17年度版(2005年度版)』	2007/03
		『研究紀要9 平成18年度』	2007/03
		『東京ミッドタウン前史 赤坂榎町の三万年』	2008/02
		『資料館だより 59号』	2007/03
		『アウエビス -福神の図像学-』	2007/08
		『MUSEUM STUDY18 2006年度明治大学学芸員養成課程紀要』	2007/03
		『MUSEOLOGIST22 2006年度明治大学学芸員養成課程年報』	2007/03
武蔵野美術大学美術資料図書館 明治大学学芸員養成課程	武蔵野美術大学美術資料図書館 明治大学学芸員養成課程	『靖国 第621~632号』	2007-2008
		『図説・川の上の近代 一 通運丸と関東の川蒸気船交通史 - 史料編 >』	2007
新潟県	十日町市教育委員会	『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第32集 内後遺跡発掘調査報告書』	2006/03
		『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第33集 土橋遺跡発掘調査報告書』	2006/03
		『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第34集 幅上遺跡発掘調査報告書』	2007/03
		『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第35集 上ノ山開墾地遺跡発掘調査概要報告書』	2007/03
		『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第36集 平成18年度 十日町市内発掘調査報告書』	2007/03
山梨県	環境省自然環境局生物多様性センター 南アルプス市教育委員会	『十日町市教育委員会文化財課 年報11 平成18年度』	2007/03
		『生物多様性センター ニュースレター 第23号』	2007/09
		『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第10集 平成15-16年度埋蔵文化財試発掘調査報告書 百一上八田遺跡』	2005/03
		『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第11集 平成17年度埋蔵文化財試発掘調査報告書』	2006/03
		『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第12集 市内遺跡跡詳細分布調査報告書』	2006/03
		『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第13集 ロタコ(御物使河原飛行場跡)』	2007/03
		『山梨県南アルプス市 文化財年報 -平成18年度-』	2007/03
		『山梨県立博物館 常設展示案内』	2005/10
		『オオカミがいた山 消えたニホンオオカミの謎に迫る』解説パンフレット	2007/02
		『市内遺跡Ⅰ 平成8~10・14~18年度 埋蔵文化財発掘調査報告書』	2007/03
長野県	茅野市教育委員会	『茅沢遺跡Ⅱ 『県営中山間総合整備事業 御柱の里地区』に伴う発掘調査報告書』	2007/03
		『尖石遺跡整備報告書(2)』	2007/03
		『紀要 第15号 <平成18年度>』	2007/03
岐阜県	(財)藤村記念館	『藤村記念館だより No.118~121』	2007
		『大仁町埋蔵文化財発掘調査報告書第8集 阿原遺跡発掘調査報告書』	1984/06
静岡県	伊豆の国市教育委員会	『大仁町埋蔵文化財発掘調査報告書第11集 公藏免遺跡発掘調査報告書』	1990/03
		『大仁町埋蔵文化財発掘調査報告書第12集 長者原大平遺跡群発掘調査報告書』	1993/03
		『大仁町埋蔵文化財発掘調査報告書第13集 山崎・段遺跡発掘調査報告書』	1994/03
		『大仁町埋蔵文化財発掘調査報告書第14集 高勝寺遺跡発掘調査報告書』	1995/02
		『笹子遺跡・上西ノ塚A遺跡発掘調査報告書』	1997/12
		『仲道A遺跡第Ⅲ次発掘調査報告書』	1999/08
		『伊豆の国市文化財調査報告No.1 伊豆の国埋蔵文化財調査報告Ⅰ 御所ノ内遺跡4.6.7.8-2.10-1.14.19次発掘調査報告書』	2006/12
		『伊豆の国市文化財調査報告No.3 伊豆の国埋蔵文化財調査報告Ⅱ 坂本遺跡第1~第6次発掘調査報告書』	2006/03
		『伊豆の国市文化財調査報告No.4 山木遺跡 一般県道南停車場反対射野線緊急交通環境改善対策事業に伴う第19次発掘調査報告書-Ⅰ』	2007/03
		『伊東市史だより 第8号』	2007/03
		『静岡県立美術館ニュース アマリリス Amaryllis No.87, 88』	2007-2008
		『静岡市立登呂博物館研究紀要7』	2007/03
		『静岡市立登呂博物館館報17 -平成18年度-』	2007/09
		『沼津市博物館紀要 29』	2005/03
		『沼津市博物館紀要 30』	2006/03
『沼津市博物館紀要 31』	2007/03		
沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館	『沼津市歴史民俗資料館資料集 24 奥駿河湾の漁撈用具 -実測図・写真2-』	2007/03
		特別展『漁具の記憶 -奥駿河湾の漁法と漁具-』図録	2007/06
		『資料館だより vol.32 No.4』	2007/03
		『静岡県 袋井市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』	2006/03
		『袋井市駅前第二地区土地地区画整理事業に伴う発掘調査報告書15 平成17年度掛之上遺跡43・46・48 -写真図版編-』	2006/03
袋井市教育委員会	袋井市教育委員会	『袋井市駅前第二地区土地地区画整理事業に伴う発掘調査報告書16 平成17年度掛之上遺跡38・39・40・42 -写真図版編-』	2006/03

出版地	寄 贈 者	書 名	発行年月
		『袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書17 平成17年度掘之上遺跡41・44・45 -写真図版編-』	2006/03
		『静岡県 袋井市内遺跡発掘調査報告書 II』	2007/03
		『袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書18 平成18年度掘之上遺跡50・53・56 -写真図版編-』	2007/03
		『袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書19 平成18年度掘之上遺跡51・54・55 -写真図版編-』	2007/03
		『袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書20 平成18年度掘之上遺跡49・52 -写真図版編-』	2007/03
	藤枝市郷土博物館 三島市教育委員会	『藤枝市郷土博物館年報 18 平成17年度』	2007/03
		『三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XII 発掘・確認調査平成15・16年度実施 の試掘・確認調査 所蔵考古資料調査三島市教育委員会所蔵考古資料』	2007/03
	三島市郷土資料館	『三島市郷土資料館開館35周年記念企画展「発掘された日本列島2006 地域展」 『東駿河・伊豆の古墳と横穴墓』	2007/08
	焼津市歴史民俗資料館	『焼津市歴史民俗資料館年報 20 平成17年度』	2007/02
		『焼津市歴史民俗資料館年報 21 平成18年度』	2007/12
愛知県	安城市歴史博物館 一宮市尾西歴史民俗資料館	『年報 第16号 平成18年度』	2007/06
		特別展「続船物語 -木曾川と神通川・九頭竜川-」図録	2007/10
		特別展「小塚真持 -在村の国学者・その典籍とうたの世界-」図録	2008/02
	豊橋市自然史博物館 豊橋市美術博物館 豊橋市二川宿本陣資料館	『豊橋市自然史博物館 年報 第19号 平成18年度』	2007/06
		『風白 vol.64~67』	2007-2008
		『東海道五十七次宿場展XV -伏見・淀・枚方・守口・大阪-』	2008/02
		『東海道五十七次宿場展XIV -石部・草津・大津・京-』	2007/02
		『豊橋市二川本陣資料館年報 平成17・18年度』	2007/11
		『池田遥郁 -一昭和東海道と山頭火-』	2007/10
		『二宿史料第二集 二宿本陣報告1』	2007/03
三重県	亀山市歴史博物館 鈴鹿市考古博物館	企画展「子ども!おとなも!調べて納得博物館」図録	2007/03
		『鈴鹿市考古博物館年報 第8号 平成17年度版』	2007/03
		『鈴鹿市考古博物館年報 第9号 平成18年度版』	2007/07
		企画展「ぼくのわたしのたからもの」パンフレット	2006/07
		特別展「不思議な石の道具たち」図録	2006/10
		企画展「赤く塗られた土器」図録	2007/01
		企画展「どうぶつたちがやっていた -この夏 博物館が動物園にかわる!?-」 パンフレット	2007/07
		特別展「文字を記す 一硯と墨書-」図録	2007/09
		企画展「石棒・和同開珎から鈴鹿海軍備品まで -寄贈・寄託名品展-」 パンフレット	2008/01
滋賀県	藤原岳自然科学館 近江八幡市地域文化課 草津市教育委員会 草津市街道交流館	『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第29巻 2006年度号』	2007/06
		『近江八幡の歴史 第三巻 祈りと祭り』	2007/03
		『草津市文化財年報15』	2007/12
		秋季テーマ展「本陣今昔物語 -近江に伝わる大名たちの宿-」図録	2006/10
		春季テーマ展「街道鳥瞰 -街道絵図から観光図へ-」図録	2007/04
		秋季テーマ展「弥次喜多道中さらに西へ -続「陸奥毛」の旅-」図録	2007/10
		『街道文化 通信 vol.13, 14』	2006-2007
京都府	向日市文化資料館	『向日市古文書調査報告書第9巻 京都府向日市寺戸区有文書調査報告書II』	2006/03
奈良県	奈良文化財研究所	『動物考古学の手引き 2001~2005年度』	2006/03
		『埋蔵文化財ニュース 特集 東アジアの文化財保存修復事情』	2007/02
		『2005年度 埋蔵文化財関係統計資料』	2007/03
大阪府	富田林市教育委員会	『富田林市内遺跡群発掘調査報告書38 平成18年度』	2007/03
		『富田林市内遺跡群発掘調査報告書39 新堂庵寺跡II』	2007/03
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館	『脇坂淡路守 -脇坂家資料寄贈記念展-」図録	2007/09
		『描かれた船 -室乃津 加茂神社の文化財-」図録	2008/02
高知県	高知県立牧野植物園 (財)土佐山内家宝物資料館	『高知県立牧野植物園 年報 第6号(2006)』	2007/05
		『牧野植物園だより No.29~31』	2007
		『旅後旅行絵巻 瀬海静候最後の旅』	2007/03
沖縄県	(財)海洋博覧会記念公園管理財団	『南風 Vol. 3~6』	2007-2008
北海道	帯広百年記念館	『帯広百年記念紀要 第25号』	2007/03

研究報告

入館者数の博物館業務評価一指標としての有効性（大磯町郷土資料館の実情から）

* 北水 慶一

開館から20年を経過した当館は地域に根付いた活動が定着する一方で、施設のあり方について評価し、議論されることが多くなった。評価指標の実績値として、必ず取り上げられるのは年間の運営のコスト（予算歳出額）ととして、入館者数である。地方自治法の中で「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」と明記されている。むしろ10数年、学芸員という職に就いて企画展事業・教育普及活動事業を実施していると自ずと経費の抑え方、効果的な見せ方、話し方等が身に付き、自分なりに最少の経費で来館者に一応の満足感を感じていただいているのではないかと考えている。現在、実施している手法がすべて正しいとは言わないまでも、概ね効果的、効率的な事務の遂行ができていると自負している。むしろ業務評価で気に掛かっているのは端的に効果＝（イコール）入館者の獲得ということが、先行しているように感じられることである。むしろ、博物館の学芸員としては、年間の入館者数や企画展の入場者数は気になる事項であり、企画展実施後の自己評価の一指標であることは間違いない。近年、来館者の満足度を数値化する研究が進められているが、すべての博物館に適用できる算出法を確立することは現実的には難しいと思われる。入館者数は唯一、客観的に業務評価できる数値と言えるの

かもしれないが、それぞれの施設の立地や入館者数の増加・減少の要因等を正確に掴んでいないと、正しい業務評価に結び付かないのではないかと考える。全体的な館の評価というよりも事業の評価について言及することになるが、当館の場合、企画展入場者数は開催時期によってバラツキがあり、7月、8月はどんな展示内容であっても、入場者数は伸びず、春・秋の企画展の入場者数と比較されると不公平感を抱く。感覚的に入館者数が多い時期、少ない時期は分かっているが、実態はどのようなか興味を持ち、入館者数を図表化し、推移等を調べることにした。

<入館者数のカウントの仕方>

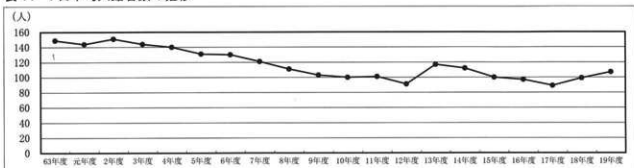
当館では、入館者数はエントランスホール入口に設置してある光電式の出入者自動計数装置でカウントしている。赤外線センサーによる自動計測器で、入館・退館の2回センサー設置箇所を通過することで、1人とカウントされるようになっている。企画展示室の入口には特に計数器を設置しておらず、企画展会期中の資料館入館者数を企画展の入場者数としている。

<当館の立地および施設の利活用>

当館は大磯駅から約2km離れた県立大磯城山公園の中にある。城山公園は約7haの風致公園で、1年を通じて草花や樹木、野鳥、昆虫等自然に親しむことができる。当館の入館者数も少なからず、城山公園の影響を受けていることは言うまでもない。

また、当館の研修室は町役場や教育委員会の行事が無い時は一般のサークルに貸し出しており、公民館的な施設利用もされている。

表1. 1日平均入館者数の推移



年 度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
入館者数	18,174人	42,040人	43,710人	41,180人	40,994人	37,882人	37,565人	35,014人	31,218人	28,857人
開館日数	122日	291日	290日	286日	292日	289日	289日	290日	281日	278日
1日平均	149人	144人	151人	144人	140人	131人	130人	121人	111人	103人
年 度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入館者数	28,415人	28,252人	25,395人	32,886人	30,835人	28,497人	28,250人	26,421人	28,966人	31,697人
開館日数	282日	279日	277日	281日	274日	285日	291日	296日	291日	296日
1日平均	100人	101人	91人	117人	112人	100人	97人	89人	99人	107人

(* 当館学芸員)

<1日平均の入館者数の推移>

開館した昭和63年度から平成19年度までの入館者数の推移を調べた。年間の入館者数は、開館日数に多少影響を受けるため、比較対象とする数値は、年間入館者数を開館日数で割った1日平均入館者数を用いた。結果は表1のとおりである。平成2年度が最も多く、1日平均の入館者数は151人を記録した。その後は平成12年度まで緩やかな減少傾向で推移し、平成12年度は1日平均91人まで落ち込んだ。平成13年度は前年度比28.6パーセント増の117人に増えたが、その後は再び、減少傾向となり、平成17年度に最も少ない89人になった。その後2年間は増加傾向となっている。結論としては、開館から平成8、9年度頃までは減少傾向で、その後は若干の増減はあるものの100人前後のほぼ横ばい状況として見る事ができる。

<企画展開催の効果>

当館の展示室は2室あり、1室が常設展示室(275.54㎡)、他の1室が企画展示室(84.12㎡)である。常設展示室は部分的な展示替えをすることもあるが、ほぼ1年固定した展示である。企画展示室では、常設展の展示を補うための企画展(予算規模・展示資料点数等によって特別展・企画展・ミニ展示の3種類に分類しているが、以下、企画展と表記する。)を年3回～5回実施している。

企画展開催の効果・影響度を調べるため、平成19年度とはほぼ同じ1日平均入館者数に落ち着いた平成8年度以降、12年分の入館者数を企画展開催の有無によって大別し、1日平均の入館者数をもとめた。細かく推移が読み取れるように一月を上旬(1日～10日)、中旬(11日～20日)、下旬(21日～)の3期に分け、計36期で比較した。結果は表2のとおりである。表で「[常設展のみ]」は企画展を開催していない時の館運営状態で、「[常設展+企画展]」は企画展を開催している時の館運営状態を意味している。「[常設展のみ]」の10月下旬から11月中旬、3月上旬から下旬、また、「[常設展+企画展]」の9月中旬から10月上旬の時期については開館日数20日を下回り、データとして不十分な感はしたが、そのまま基礎データとした。

続いて、企画展開催の効果・影響度を数値化するため、それぞれの期間において、「[常設展+企画展]」の1日平均入館者数を「[常設展のみ]」の1日平均入館者数で割り、効果・影響度を調べた。結果は表3に示している。数値1.0が効果・影響度が0で、数値が増えれば増えるほど影響度が大いといえる。

考察される事柄は次のとおりである。

①(当然のことながら)企画展を開催した方が入館者数は多い

例外的に8月下旬と10月上旬は「[常設展のみ]」の方が多かったが、基本的には企画展を実施している時の方が、入館者数が多い状況が見られた。これは、企画展開催時に積極的に広報活動を行なっていることに起因していると思われる。

② 企画展開催の有無にかかわらず、時期によって、入館者数に偏りがある

当館の場合、2月から5月、10月、11月の入館者数は平均して多い。しかしながら、7月、8月、1月の1日平均入館者数は70人前後と低迷する。城山公園内の梅、桜、ツツジの開花、モミジの紅葉等施設の周辺環境も少なからず影響しているものと思われる。

③ 企画展の開催の効果は時期によって異なる

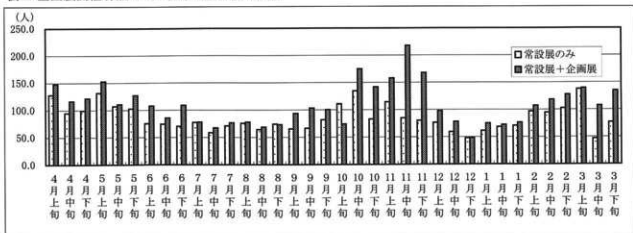
企画展を開催した時の効果・影響度は平均1.3で、企画展を開催しない時よりも約130%の入館者数が見込める。しかしながら、効果の表れ方は時期によって差が生じる。表3を参考にした場合、6月上旬・下旬、9月上旬・中旬、10月下旬、11月中旬・下旬、3月中旬・下旬は平均の1.3を大きく上回っている。逆に5月中旬、7月上旬・下旬、8月上旬・中旬・下旬、10月上旬、12月下旬、1月中旬・下旬、3月上旬の効果・影響度は1.1未満で、10%増も見込めない状況である。更に興味深い点は、6月から9月の「[常設展のみ]」の1日平均入館者数は70人前後で推移しているにもかかわらず、6月、9月と7月、8月とでは効果・影響度に違いが見られることである。効果・影響度は6月と9月はそれぞれ1.38と1.41、7月と8月は1.08と1.03であり、7月、8月は特に効果が表れにくいことが分かった。

<企画展の内容と効果>

表4と表5にこれまでに実施した企画展のランキングを紹介している。表を見ていただくと分かる通り、企画展の内容によっても1日平均の入館者数はバラツキが見られる。本稿では、来館者の趣向については特筆せず、あくまで実績値から実態を読み取ることとする。

1日平均の入館者数は最も多かった企画展が322.7人、最も少ない企画展が61.1人で5倍強の差が見られた。また、開催時期に注目するとランキングの上位にあげられている展示は10月から11にかけて、3月から4にかけて、また5月から6にかけて開催した企画展であった。逆に少ないのは7月から9月、12月から2にかけての期間の展示であった。企画展の会期日数という点では30日前後と比較的会期が短い展示がランキングの上位にあがっていた。期間が長くなるとう会期中、徐々に入館者数が減る状況が見られ、短い期間の方が集中して入館者を集めやすいことがうかがえる。

表2. 企画展開催有無の1日平均入館者数の比較

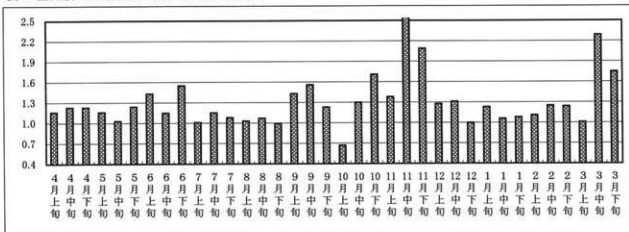


	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
常設展のみ	1日平均	128.2	94.8	99.4	131.9	107.2	102.6	75.6	74.5	70.4	77.5	58.7	71.3	76.0	64.4	74.4	65.5	66.3	81.8
	開催日数	26	76	59	35	57	50	26	50	57	50	53	28	24	25	29	62	84	78
常設展+企画展	1日平均	148.1	116.6	121.8	152.9	110.8	127.2	107.8	85.8	108.9	78.0	67.5	76.8	78.0	68.9	73.3	93.6	103.2	106.5
	開催日数	65	28	36	43	46	63	65	53	22	26	45	82	69	77	85	27	12	16

	10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
常設展のみ	1日平均	111.1	134.6	83.0	114.5	85.0	80.4	76.4	59.3	48.0	61.2	68.5	70.6	96.9	94.7	102.6	137.8	47.0	77.0
	開催日数	72	50	5	11	10	32	44	43	29	22	44	71	55	39	27	12	5	4
常設展+企画展	1日平均	74.1	174.9	141.9	158.1	217.8	167.8	97.8	77.9	48.2	75.0	72.3	76.6	107.4	118.4	127.7	139.6	107.5	135.0
	開催日数	16	50	108	80	92	64	46	60	39	31	51	42	36	56	58	78	96	104

※ 単位は「1日平均」は人、「開催日数」は日

表3. 企画展の入館者数に関する効果・影響度



	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみの1日平均入館人数 (a)	128.2	94.8	99.4	131.9	107.2	102.6	75.6	74.5	70.4	77.5	58.7	71.3	76.0	64.4	74.4	65.5	66.3	81.8
常設展+企画展の1日平均入館人数 (b)	148.1	116.6	121.8	152.9	110.8	127.2	107.8	85.8	108.9	78.0	67.5	76.8	78.0	68.9	73.3	93.6	103.2	106.5
企画展の効果・影響度 (b/a)	1.16	1.23	1.23	1.16	1.03	1.24	1.43	1.15	1.55	1.01	1.15	1.08	1.03	1.07	0.99	1.43	1.56	1.23

	10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみの1日平均入館人数 (a)	111.1	134.6	83.0	114.5	85.0	80.4	76.4	59.3	48.0	61.2	68.5	70.6	96.9	94.7	102.6	137.8	47.0	77.0
常設展+企画展の1日平均入館人数 (b)	74.1	174.9	141.9	158.1	217.8	167.8	97.8	77.9	48.2	75.0	72.3	76.6	107.4	118.4	127.7	139.6	107.5	135.0
企画展の効果・影響度 (b/a)	0.67	1.30	1.71	1.38	2.56	2.09	1.28	1.31	1.00	1.23	1.06	1.08	1.11	1.25	1.24	1.01	2.29	1.75

※ 「1日平均入館人数」の単位は人

表4. 大磯町郷土資料館企画展の1日平均入館者数ランキング (No. 1)

種別	回数	テーマ	会期	開館日数	入館者数	1日平均
1	特別展 第2回	安田靉彦の画と書 ～大磯に在りし六十年～	平成元年10月15日～11月12日	25日	8,068人	322.7人
2	企画展 第5回	土器が語る縄文時代の湘南	平成2年3月6日～4月8日	29日	9,245人	318.8人
3	特別展 第1回	町風園の日々 ～島崎藤村とその周辺～	昭和63年10月26日～11月17日	19日	5,779人	304.2人
4	特別展 第7回	藤澤～紅箱からのメッセージ/西相模の仕事着	平成6年10月15日～11月20日	31日	9,254人	298.5人
5	特別展 第5回	相模湾の動物展	平成4年10月10日～11月22日	38日	10,874人	286.2人
6	企画展 第6回	昭和の風俗画家「長瀬實の世界」	平成2年5月5日～6月3日	26日	6,376人	245.2人
7	特別展 第4回	大磯と吉田茂 ～開館3周年記念～	平成3年10月13日～11月10日	25日	6,100人	244.0人
8	特別展 第3回	城山荘と城山宮 ～昭和の残像～	平成2年10月14日～11月11日	25日	6,025人	241.0人
9	企画展 第33回	かながわ考古学財団共催・巡回展「弥生の暮あけ」	平成11年11月7日～11月28日	18日	4,181人	232.3人
10	特別展 第9回	おばあちゃんの針仕事	平成8年10月13日～11月17日	30日	6,719人	224.0人
11	特別展 第8回	牧野富太郎と西相模の自然	平成7年10月15日～11月19日	31日	6,637人	214.1人
12	特別展 第6回	初代 竹香展	平成5年10月17日～11月21日	31日	5,836人	188.3人
13	特別展 第10回	動物の生活と体のつくり ～羽と歯を中心に～	平成9年10月12日～11月16日	30日	5,580人	186.0人
14	企画展 第18回	雲の画家/山本孫造遺作展	平成6年5月5日～6月12日	34日	6,313人	185.7人
15	特別展 第12回	東海道シンポジウム大磯宿大会記念展 「田高庵寺の寺宝」	平成14年10月12日～11月17日	30日	5,351人	178.4人
16	企画展 第8回	ヤゴと小川・ため池の生きもの	平成3年3月3日～4月7日	30日	5,347人	178.2人
17	企画展 第9回	土器が語る弥生時代の湘南	平成3年5月5日～6月9日	31日	5,294人	170.8人
18	企画展 第13回	湘南の考古資料展	平成5年3月6日～4月4日	25日	4,202人	168.1人
19	企画展 第17回	織人形展	平成6年3月3日～4月3日	27日	4,465人	165.4人
20	企画展 第58回	館所蔵織人形展 織の魅艶	平成20年2月10日～4月6日	47日	7,735人	164.5人
21	企画展 第43回	文化財特別公開「初公園高来神社蔵木造神像群 修復完工慶喜院木造仁王像」	平成14年5月19日～6月23日	30日	4,780人	159.3人
22	企画展 第11回	相模湾の漁船と船大工	平成4年3月1日～4月5日	30日	4,737人	157.9人
23	企画展 第23回	織人形展	平成8年2月25日～4月7日	35日	5,429人	155.1人
24	企画展 第29回	日本列島エハガキ紀行	平成10年10月18日～12月6日	40日	6,160人	154.0人
25	企画展 第44回	織人形展	平成15年2月16日～4月6日	41日	6,156人	150.1人
26	企画展 第2回	寂情の人・菊池重三郎 ～よせられた書簡を中心に～	平成元年4月18日～6月18日	51日	7,579人	148.6人
27	企画展 第27回	織人形	平成10年2月15日～4月5日	40日	5,676人	141.9人
28	企画展 第36回	織人の道具 ～西相模の手作業～	平成12年10月22日～11月26日	32日	4,531人	141.6人
29	企画展 第14回	～館蔵品による～ 大磯ゆかりの人々の逸品 2	平成5年4月27日～6月20日	45日	6,333人	140.7人
30	特別展 第11回	東海道宿駅制度400年記念巡回展 「二宮・大磯・平塚を結ぶ道 ～東海道～」	平成13年9月16日～10月28日	36日	4,974人	138.2人
31	企画展 第57回	町中の自然ウォッチング	平成19年10月21日～1月14日	66日	9,011人	136.5人
32	企画展 第42回	漂着物展	平成14年3月3日～4月7日	29日	3,935人	135.7人
33	企画展 第46回	開館15周年記念展「考古資料展」	平成15年10月18日～12月21日	53日	7,163人	135.2人
34	企画展 第47回	布と着物 ～縫う・着る・装う・繕う・楽しむ～	平成16年2月24日～4月11日	40日	5,395人	134.9人
35	企画展 第53回	江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅱ 「酒 ～宴の道具～」	平成18年2月5日～5月7日	76日	10,212人	134.4人
36	企画展 第25回	徳利	平成9年3月16日～4月27日	35日	4,616人	131.9人
37	企画展 第20回	地中からの足音 ～近年の発掘調査の成果～	平成7年3月19日～6月11日	69日	9,002人	130.5人
38	ミニ展示 第4回	ちよっとなつかしいもの	平成11年4月25日～6月20日	45日	5,785人	128.6人
39	企画展 第38回	織人形展	平成13年2月25日～4月8日	34日	4,336人	127.5人
40	企画展 第7回	館蔵品による「大磯ゆかりの人々の逸品」	平成2年7月24日～9月2日	36日	4,545人	126.3人

表5. 大磯町郷土資料館企画展の1日平均入館者数ランキング (No. 2)

種別	回数	テーマ	会期	開催日数	入館者数	1日平均
企画展	第16回	新春資料展	平成6年1月23日～2月27日	30日	3,786人	125.5人
企画展	第24回	アオノハと照ヶ崎	平成8年5月26日～6月9日	12日	1,498人	124.8人
企画展	第109回	なつかしの風景Ⅰ 海と海水浴場	平成3年7月21日～8月31日	36日	4,450人	123.6人
企画展	第129回	なつかしの風景Ⅱ 家と町並み	平成4年7月26日～9月6日	36日	4,340人	120.6人
企画展	第32回	～館収蔵品による～ 大磯ゆかりの人々の逸品3	平成11年10月17日～11月3日	14日	1,626人	116.1人
企画展	第51回	東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館共催展 「日本人形の姿と形 ～節句飾りを解ききる～」	平成17年2月6日～5月8日	76日	8,707人	114.6人
企画展	第39回	新収集資料展	平成13年5月1日～6月17日	39日	4,363人	111.9人
企画展	第56回	磯・砂浜 ～身近な自然の営み～	平成19年4月29日～6月10日	35日	3,774人	107.8人
企画展	第55回	田高麗寺の神と仏	平成18年10月15日～3月31日	134日	14,172人	105.8人
ミニ展示	第5回	収蔵動物剥製展	平成12年4月23日～6月14日	40日	4,212人	105.3人
企画展	第15回	なつかしの風景Ⅲ 史蹟と名勝	平成5年7月25日～9月5日	37日	3,868人	104.5人
企画展	第49回	大磯 高麗山の植物	平成16年9月12日～10月31日	42日	4,328人	103.0人
企画展	第3回	丘陵の動物 ～生活史を中心に～	平成元年7月11日～9月10日	54日	5,344人	99.0人
企画展	第4回	アオノハのふしぎ ～神奈川県天然記念物指定10周年記念～	平成18年5月28日～7月30日	48日	4,682人	97.54人
企画展	第1回	オタマシ ～神のすがた～	平成7年7月30日～9月10日	37日	3,606人	97.46人
企画展	第52回	県立大磯城山公園の植物 ～「ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に～	平成17年10月23日～1月15日	65日	6,224人	95.8人
企画展	第30回	地中からの足音Ⅱ ～近年の発掘調査の成果～	平成11年3月7日～4月11日	29日	2,758人	95.1人
企画展	第50回	合併50周年記念写真展	平成16年11月14日～1月16日	48日	4,404人	91.8人
企画展	第19回	湘南の貝化石	平成6年7月17日～9月4日	43日	3,903人	90.8人
企画展	第22回	めんこ ～なつかしのヒーローたち～	平成7年12月3日～2月18日	57日	5,161人	90.5人
企画展	第34回	学習参考資料展「かわつてきたくらしの道具」	平成12年1月16日～3月26日	57日	5,134人	90.1人
企画展	第26回	銀KWA ～土の記憶～	平成9年7月27日～9月7日	35日	3,064人	87.5人
企画展	第48回	江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅰ「灯」	平成16年5月2日～8月31日	96日	8,264人	86.1人
企画展	第41回	鈴木茂コレクション展	平成13年12月9日～2月3日	38日	3,192人	84.0人
企画展	第40回	相模湾のウミガメ	平成13年7月21日～9月2日	36日	3,017人	83.8人
企画展	第459回①	第2回郷土博物館＜前期展示＞「郷土の物語り」	平成15年6月7日～7月20日	37日	3,077人	83.2人
企画展	第31回	相模湾の貝類Ⅱ 大磯周辺海域の二枚貝	平成11年7月21日～9月5日	39日	3,235人	82.9人
企画展	第1回	大磯再発見① 資料が語るもの	昭和63年12月6日～1月29日	40日	3,184人	79.6人
企画展	第4回	大磯再発見② モノもの・mono	平成元年12月12日～2月18日	50日	3,630人	72.6人
特別展	第13回	大磯の蘭園 ～松本朝と大磯海水浴場～	平成19年7月3日～9月2日	54日	3,885人	71.9人
ミニ展示	第7回	収蔵昆虫標本展	平成14年12月8日～1月26日	33日	2,360人	71.5人
企画展	第459回②	第2回郷土博物館＜後期展示＞ 「私のお宝／ビーチコーミング・アート」公募展	平成15年7月26日～9月7日	36日	2,470人	68.6人
企画展	第28回	相模湾の貝類Ⅰ 大磯海域にすむマキガイ	平成10年7月12日～9月6日	46日	3,102人	67.4人
ミニ展示	第9回	戦後60年記念ミニ展示 「館収蔵資料による戦時下のくらし」	平成17年7月23日～9月4日	36日	2,380人	66.1人
企画展	第35回	身近な動物・植物	平成12年7月16日～9月3日	40日	2,565人	64.1人
企画展	第37回	「草と木の調査 ～秋の植物～」連報展	平成13年1月7日～2月18日	34日	2,079人	61.1人

※ ミニ展示は常設展示室・エントランスホール・回廊等企画展示室以外の場所で行った展示もあるが、表に示したものは、企画展示室で実施した展示に限る。

＜県立大磯城山公園の入園者数との比較＞

表6から表8は平成17、18、19年度の城山公園の入園者数と郷土資料館の入館者数を比較したものである。城山公園の入園者数は園内駐車場に駐車してあった自家用車の台数等から算出した数値であり、実数というよりは概算的な数値ということだが、入園者数の推移という点では、記録の取り方が毎月、同じであるため、十分に参考のできる数値であると判断される。

単純に公園の入園者数と郷土資料館の入館者数とを比較すると、1年間の城山公園の利用者数は、平成17、18、19年度の3カ年はいずれも郷土資料館の利用者数のほぼ4倍であり、城山公園来園者のうち、郷土資料館に立ち寄る人は4人に1人ということが言える。また、月ごとの推移という点では、ほぼ同様の動きが見られる。但し、1点顕著に異なる点があり、郷土資料館の入館者数では6月から9月はほぼ横ばいであるのに対し、城山公園では必ず7月から8月に人数が増える時期がある。裏を返せば、7月、8月に増加した分の人たちは、郷土資料館に入館していないということが言える。この結果の要因であるが、7月、8月は虫かごを肩に掛け、たも網を持った親子が目立つことから、昆虫採集を目的に城山公園に来てということが考えられる。

＜まとめ＞

本町においても平成16年から事務事業の評価を行なうようになった。今後はおそらく、施設運営側ではなく外部からの評価が積極的に取り入れられると思う。段階的に企画展・教育普及活動等事業ごとの業務評価が行なわれるようになった時、入館者数の動向に関してはやはり時期・季節的な考慮が必要であるように思う。また、博物館業務評価としては、単に入館者数のみで評価をするのではなく、来館者の満足感を指標化することも必要であり、独自の業務評価指標を館職員側から項目立てていく必要があるように思われた。

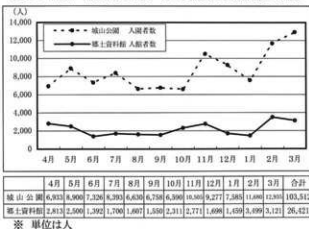
学芸業務に関する感想としては、当然のことながら、開催する企画展の展示内容によって入館者数のバラツキが見られ、テーマの取り方が重要であることを再認識した。また、夏休み期間に、子供を誘導できる企画（例えば、昆虫展など）を組めば、入館者数の増加が図れるのではないかと思います。

最後に趣旨を理解し、城山公園の入園者数等のデータをご提供いただきました城山公園 園長 由良伊佐雄氏に御礼申し上げます。

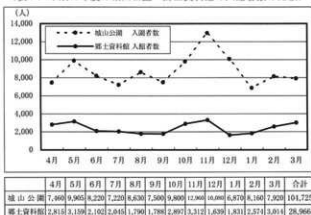
引用・参考文献

石川(貴)・庄司(1999)「最近3カ年の入館者数」に関するアンケート調査 結果報告『ミュージアム・データ

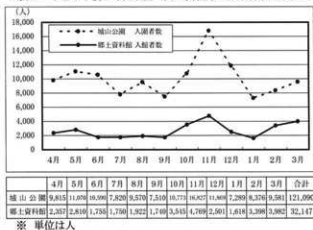
＜表6. 平成17年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



＜表7. 平成18年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



＜表8. 平成19年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



- No. 45]. 丹青研究所
石川(貴)・福留・高橋(2001)「『博物館の評価について』アンケート調査 結果報告」『ミュージアム・データ
No. 54]. 丹青研究所
佐川和裕(2005)「資料館と事務評価・人事評価」『大磯町郷土資料館 年報-平成15年度-』大磯町郷土資料館
古川元也(2007)「博物館評価の一指標 (1W)」『神奈川県博物館協会会報第79号』神奈川県博物館協会

年 報

平成19年度

- ◇ 平成21年3月20日発行
- ◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1

TEL 0463 (61) 4700

FAX 0463 (61) 4660